

一般社団法人 日本看護学教育学会
第36回 学術集会

The 36th Annual Meeting of Japan Academy of Nursing Education

プログラム集

メインテーマ

**看護学教育における
革新と伝承**

会 期

現地開催: **2026年 8月29日(土)～30日(日)**

オンデマンド配信: **2026年 9月 15日(火)～10月16日(金)**

会 場

大阪国際会議場

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3番51号

会 長

池西 悦子

大阪医科薬科大学 看護学部 教授

学術集会事務局 大阪医科薬科大学 看護学部
〒569-0095 大阪府高槻市八丁西町7番6号

運営事務局 株式会社インターグループ
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1
TEL:06-6372-3052 FAX:06-6376-2362 E-mail: jane36@intergroup.co.jp

学術集会会長挨拶

一般社団法人 日本看護学教育学会 第36回学術集会

会長 池西 悦子

大阪医科薬科大学看護学部 教授



一般社団法人日本看護学教育学会は、第36回学術集会を2026年8月29日(土)・30日(日)に大阪国際会議場にて開催いたします。歴史ある本学会の学術集会を開催する機会をいただき、心より感謝申し上げます。

第36回学術集会のメインテーマは、「看護学教育における革新と伝承」です。

現代の看護学教育は、デジタル技術やAIの進展によって大きな変革の時代を迎えています。内閣府が提唱するSociety5.0の理念のもと、IoTや人工知能(AI)を活用した情報共有が進み、教育の形態も大きく変わりつつあります。看護学教育の場においても、ICT基礎力の強化やシミュレーション教育へのAI導入など、デジタル技術の活用が広がっています。

ICTの活用による学習の効率化やシミュレーション教育の発展が進む一方で、これらの技術革新だけでは、看護師が実践で必要とされる能力を十分に育むことはできません。VUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity)の時代を迎え、医療環境はますます複雑化し、予測困難な状況への対応力が求められています。そのような環境において、看護師には、知識の習得だけでなく、柔軟性や臨床判断能力を高め、変化に適応する力を備えることが求められています。看護師は、決められた手順を正確に遂行する「定型的熟達者」ではなく、患者の個性を考慮しながら適切な判断を下せる「適応的熟達者」としての能力を期待されています。こうした能力を育むためには、技術革新を活用しながらも、経験を通じた実践的な学びや、熟達者からの「わざ」の伝承が重要な役割を果たします。

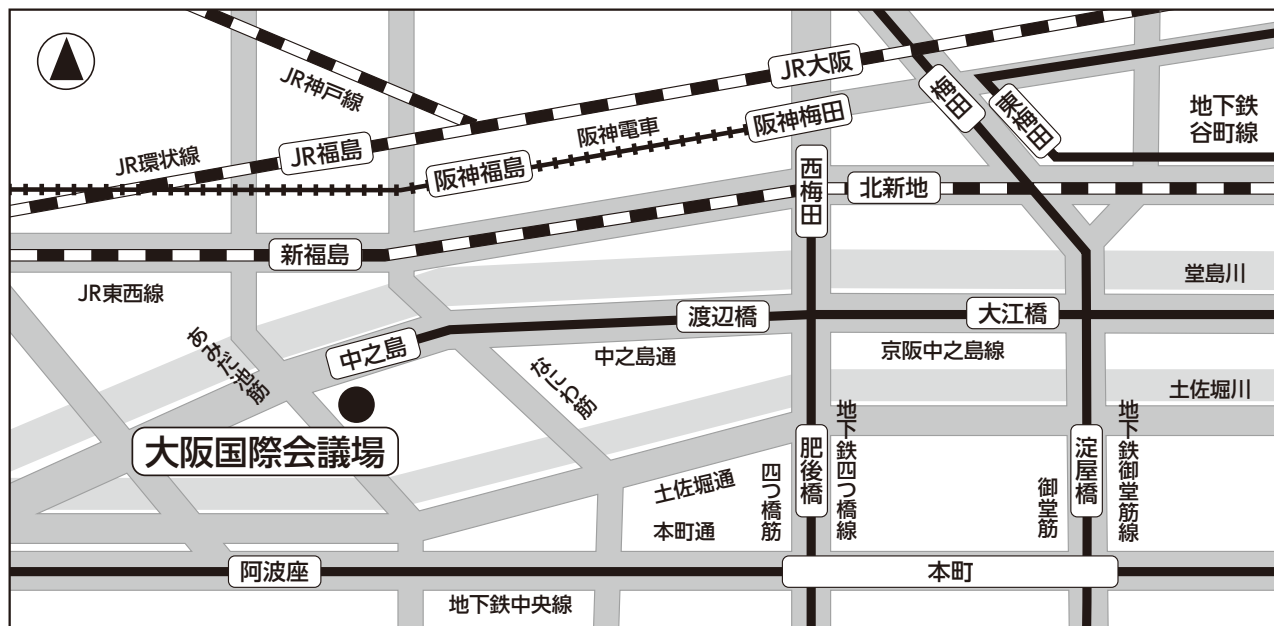
本学術集会では、技術革新を活用しながらも、人間理解と対話を重視した看護学教育の本質を維持し、「革新」と「伝承」をどのように融合させるかについて議論を深めます。新たな時代に即した看護学教育のあり方を、皆様と共に探求できることを楽しみにしております。

本学術集会は、現地開催とオンデマンド配信を併用したハイブリッド形式で実施いたします。参加者の皆様にとって有意義な学術集会となりますよう、鋭意準備を進めております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。何卒よろしくお願いいたします。

会場アクセス

大阪府立国際会議場

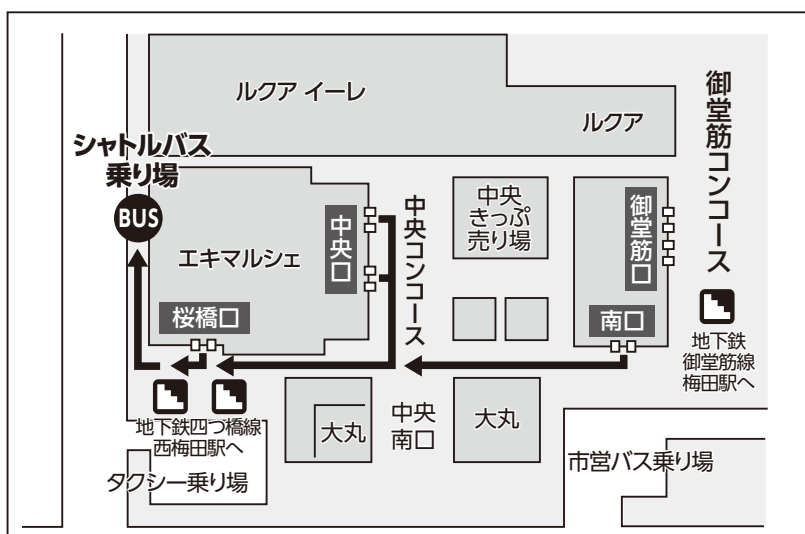
〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3-51



最寄り駅のご案内

- ☐ 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)」駅(2番出口すぐ)
- ☐ JR環状線「福島」駅から徒歩約15分
- ☐ JR東西線「新福島」駅(2番・3番出口)から徒歩(約10分)
- ☐ 阪神電鉄「福島」駅3番出口から徒歩(10分)
- ☐ 地下鉄「阿波座」駅(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

シャトルバスのご案内(JR「大阪」駅 → リーガロイヤルホテル大阪)



JR「大阪」駅から、
リーガロイヤルホテル大阪
シャトルバス(無料)を
ご利用いただけます。

運行時間 7:45～22:30
(毎時15分間隔)
※所要時間約15分

大阪駅周辺開発工事に伴い、
出発時間が不定期になる場合が
ございます。予めご了承ください。

※ご乗車はリーガロイヤルホテル大阪 および 大阪国際会議場をご利用の方に限定させていただきます。

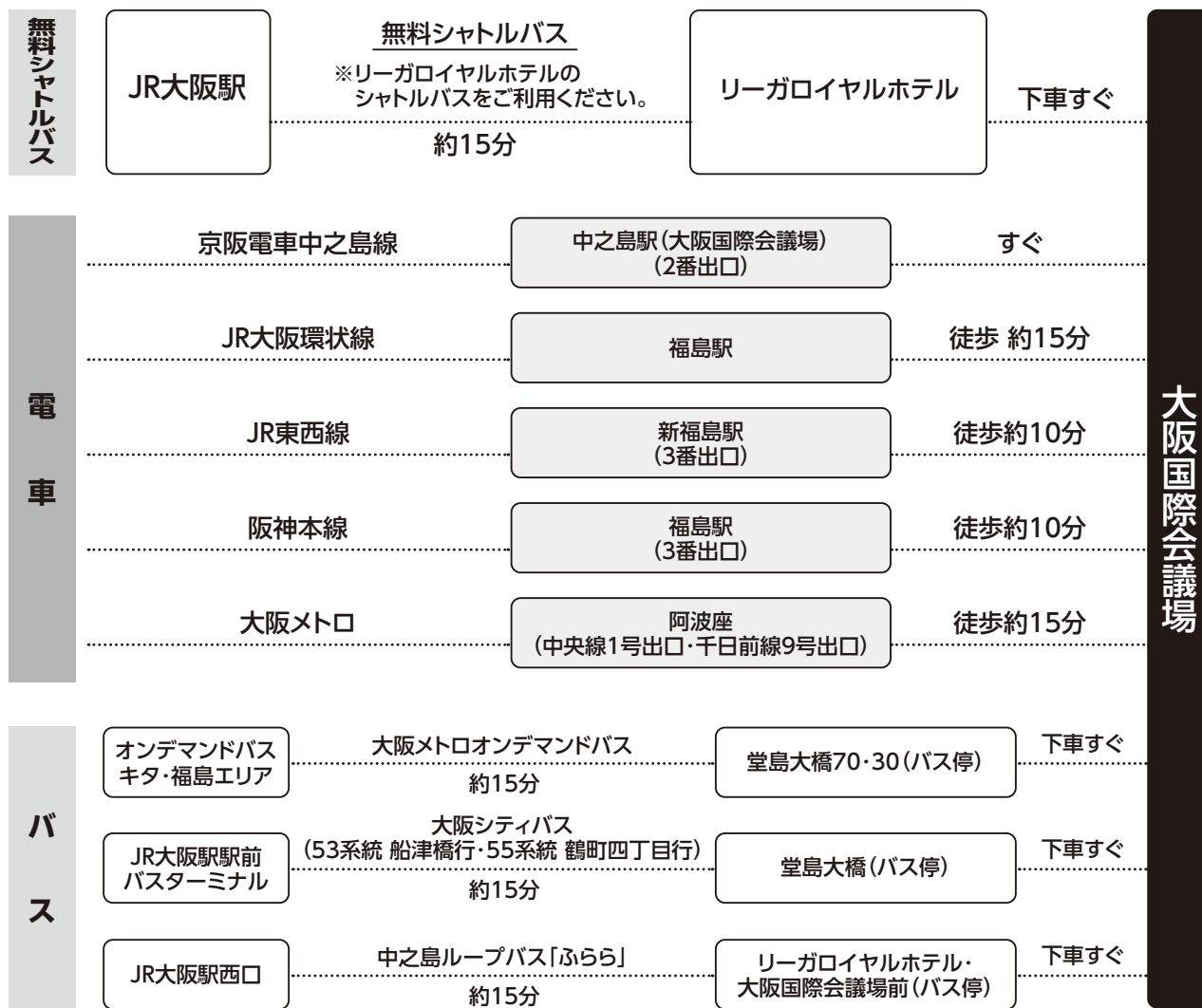
※週末 および イベント(大阪国際会議場含む)開催時は混雑する場合がございます。

お急ぎのお客様は公共交通機関をご利用くださいませ。

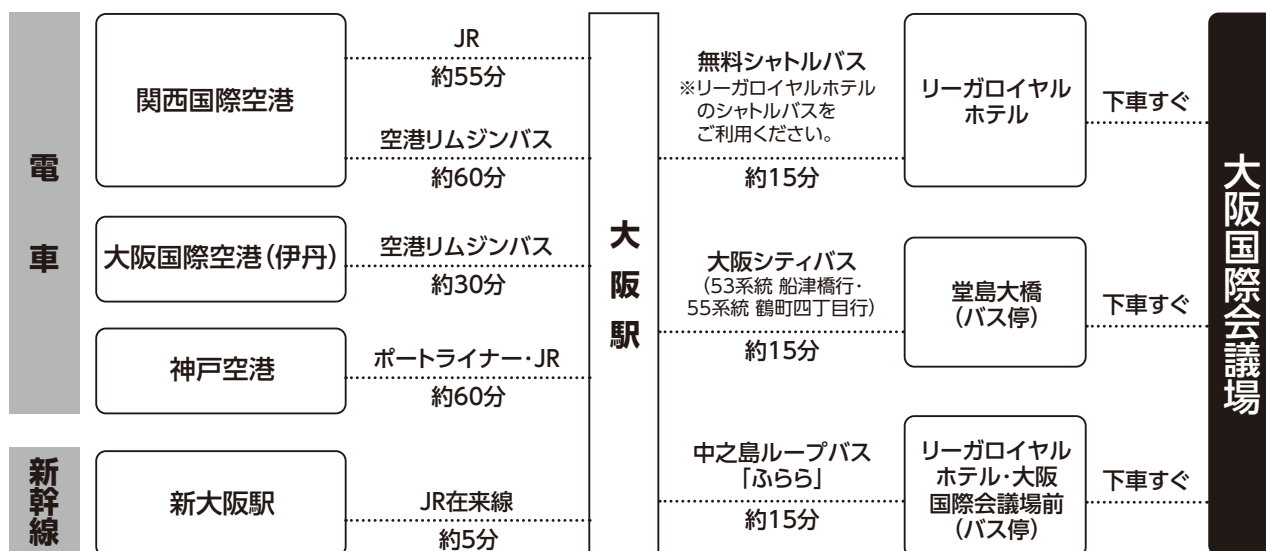
※定員は28名となっております。定員を超える場合はご乗車いただけません。

※運行経路を変更することもございます。

大阪周辺から(電車・バス)

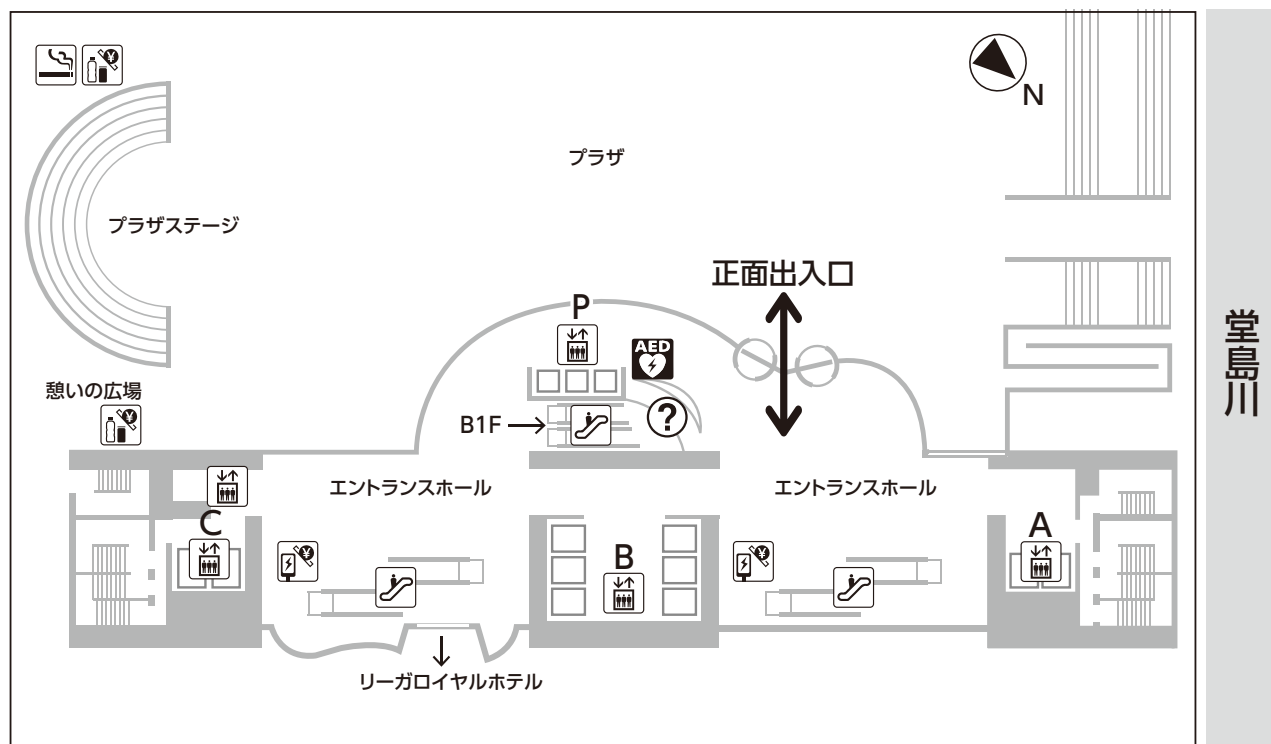


日本各地から(飛行機・新幹線)

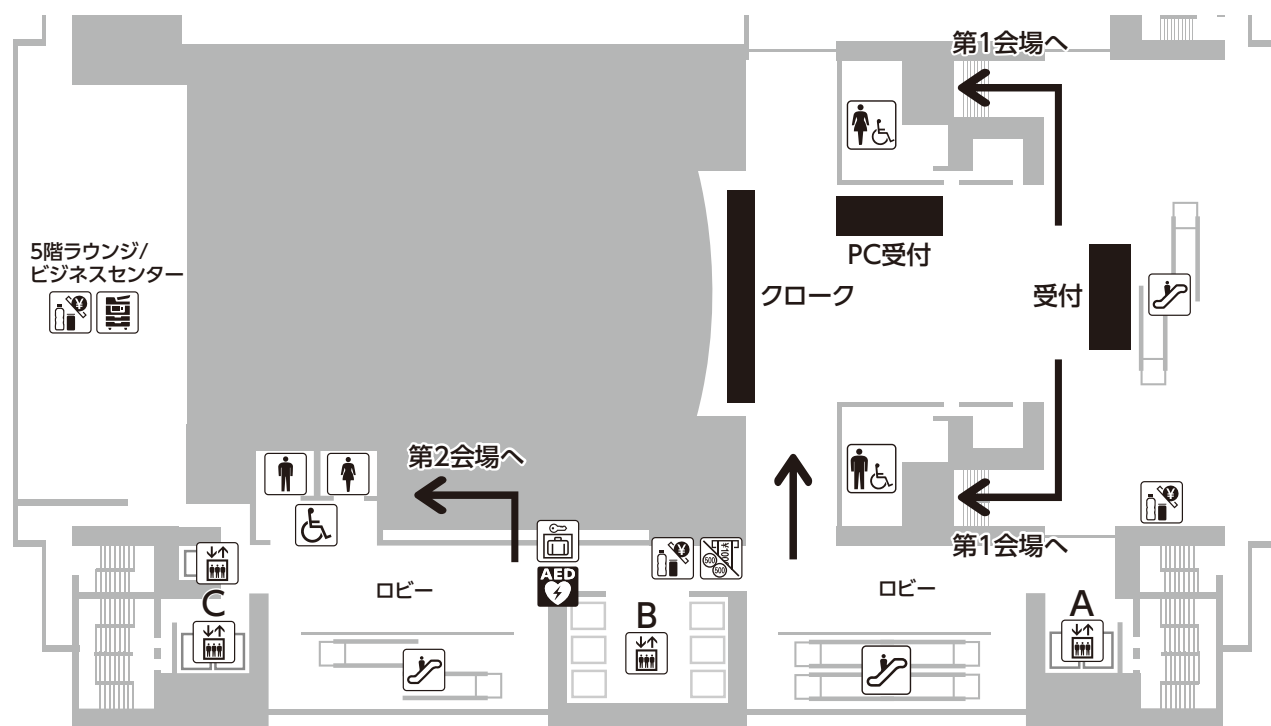


会場案内図

1 階



5 階



6階

※第1会場(大ホール)、第2会場(小ホール)の入口は5階です。
ご来場の際は5階からお入りください。

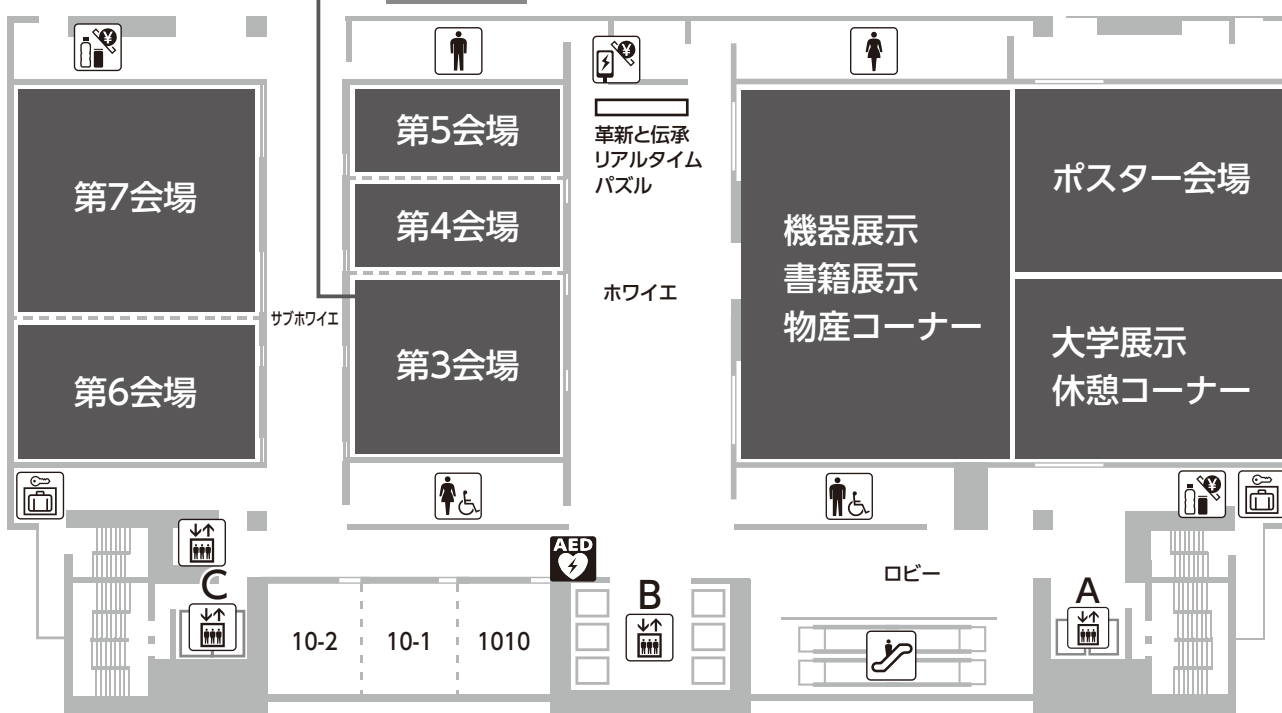


10階

第3B会場

第3A会場

2日目(8/30)のみ第3会場は
第3A会場と第3B会場に分割いたします。



1日目 2026年8月29日(土)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
	5階 大ホール	5階 小ホール	10階 1004-1005	10階 1006
9:00	9:00~9:10 開会式			
	9:10~9:50 会長講演 OD 看護学教育における 革新と伝承 演者:池西 悦子 座長:岡本 恵里			
10:00	10:00~11:00 基調講演 OD AIとともに働く未来: 教育・医療現場における 効用と課題 演者:藤本 昌代 座長:池西 悦子	10:00~11:00 理事会企画1 OD 新カリキュラム: 評価をどう捉え、どう進めるか 企画:看護学教育制度関連委員会	10:00~11:00 交流セッション01 臨地実習における学びの質をどう 支えるか―実習指導者と看護教員 がともに学ぶ協働学習会の実践― 岡田 純子	10:00~11:00 交流セッション02 看工連携によるレビー小体型 認知症の幻視理解を促進する AR教材の開発と教育的活用 坪井 桂子
11:00				
12:00	11:10~12:10 特別講演 OD 暗黙知の伝承と「わげ言語」: 未来の教育への新たな アプローチ 演者:北村 勝朗 座長:前川 幸子	11:10~12:10 文部科学省・厚生労働省講演 看護系大学における看護教育の 動向と課題／厚生労働省における 看護行政の動向 演者:加藤 治実、江藤 美和子 座長:前田ひとみ	11:10~12:10 交流セッション04 看護基礎教育におけるICTツール の活用に関する現状と課題 ―2校の取り組みから― 森谷 利香	11:10~12:10 交流セッション05 看護基礎教育における 生成AIとのつき合い方 ―学生の考える力を伸ばすには― 野崎 真奈美
13:00	12:30~13:30 共催セミナー1 F.CESS Nurseによるデータ ドリブンが拓く看護教育の未来 ～「溜まるデータ」から「IRデータ」へ 転換する教育の質保証戦略～ 演者:藤田 比左子、羽根田 洋 座長:藤田 比左子 共催:株式会社永和システムマネジメント	12:30~13:30 市民公開講座 OD 酒造りににおける革新と伝承 演者:高橋 俊成 座長:小林 道太郎	12:30~13:30 共催セミナー2 全人的看護のために漢方の考え を活かす―看護学教育における 漢方教育の必要性と伝えるべき ポイント― 演者:柳田 俊彦 座長:細田 泰子 共催:株式会社ツムラ	13:00~14:00 交流セッション07 AIとゲーミフィケーションで拓く 看護教育:「法規かた」と「多職種 チャレンジ」が導く1年生の主体性 中島 正世
14:00	13:50~15:20 シンポジウム1 OD 地域包括ケアを担う看護職 教育における革新 ～現任教育の先進的取り組み と基礎教育への期待～ 演者:鍋谷 佳子、万屋 智子 東口 三容子、岡 順子 座長:池西 静江、草野 恵美子	13:50~14:50 理事会企画2 看護の先生って何しているの? ～若手看護教員のお仕事を 知ろう 企画:広報・渉外・社会貢献委員会	13:50~14:50 交流セッション09 出張! 高齢者ケアの教師塾 in 大阪 高齢者を対象とした 看護の実習記録再考 牛田 貴子	14:10~15:10 交流セッション11 『看護覚え書』に学ぶ生活科学Ⅲ 「住居の健康」―ナイチンゲールの 病氣観:コントロールできる状態とは?― 小河 一敏
15:00		15:00~16:30 シンポジウム2 OD 看護学で世界とつながる: 国際交流の実際と 将来的可能性 演者:西田 好江、戸田 登美子 濱田 真由美 座長:飛田 伊都子	15:00~16:00 交流セッション13 Web教材 Mission Townを 活用した「地域を知る力」 を育む新たな教育方法の検討 渡辺 まゆみ	15:20~16:20 交流セッション15 教育学の視点を踏まえた 教育評価の深化―事例から 問い直す評価のあり方― 大串 晃弘
16:00	15:30~16:30 教育講演1 OD 越境の学びを看護の新たな 知の創造につなげる 相互作用による知の循環と 変革を促す人材育成の視点から 演者:伊達 洋駆 座長:西園 貞子			
17:00	16:45~17:45 会員総会			
18:00				
懇親会 (18:10～ THE BANKS Restaurant Café)				

	第5会場	第6会場	第7会場	ポスター会場
	10階 1007	10階 1008	10階 1009	10階 1001-1003
9:00				8:50~10:00 ポスター貼付
10:00	10:00~11:00 交流セッション03 憧れと現実の狭間で揺れ動く思いを支える—意思決定支援ツールOOVLによる学生主体の就職先選択の支援— 岡本 三佳	10:00~11:00 口演01 教授方略・教育評価 座長:宮本 千津子 O-01-01~O-01-06	10:00~11:00 口演02 最優秀演題賞候補(育成部門) 座長:荒木田 美香子 O-02-01~O-02-05	10:00~10:30 ポスター討論01 P-01-12 10:30~11:00 ポスター討論02 P-02-12
11:00				11:00~11:30 最優秀演題賞候補(育成部門) 03 座長:赤澤 千春 P-03-01~P-03-04 11:30~12:00 最優秀演題賞候補(発展部門) 04 座長:藤野 ユリ子 P-04-01~P-04-05
12:00	11:10~12:10 交流セッション06 看護のリアリティに触れる授業づくりの探求—イメージ化と体感的理解を促す工夫— 村上 優子	11:10~12:10 口演03 臨地実習1 座長:旗持 知恵子 O-03-01~O-03-06	11:10~12:10 口演04 最優秀演題賞候補(発展部門) 座長:安酸 史子 O-04-01~O-04-02 O-04-04~O-04-05	12:00~14:30 ポスター閲覧
13:00	13:00~14:00 交流セッション08 語る・聴く・意味づける看護基礎教育を考える—「看護ナラティブ演習」の実践と学生の学び— 池田 清子	12:30~13:30 共催セミナー3 成人が学ぶ・成人を教えるとは—ピエレマ他、成人学習:理論と実践を結びつける(医学書院、2026)に寄せて 演者:三輪 建二 座長:堀口 一明 共催:株式会社医学書院	12:30~13:30 共催セミナー4 「体験」が看護を変える—VRが拓く次世代看護教育— 演者:合田 友美 座長:小幡 航介 共催:ビジネスエンジニアリング株式会社	
14:00	14:10~15:10 交流セッション12 「リフレの会 in 大阪」へようこそ!—看護教育の事例をリフレクションする— 太田 祐子	13:50~14:50 交流セッション10 これでいいのか!! 看護教育の今~次の世代に受け継ぐ看護とは~ 目黒 悟	13:50~14:50 理事会企画3 学生の学びと成長を促す教育評価 企画:教育活動委員会	14:30~15:00 ポスター討論05 P-05-01~P-05-12
15:00	15:20~16:20 交流セッション16 看護DXを推進できる看護師育成のためあなたの担当科目に看護情報学のエッセンスを加えてみませんか(3) 遠藤 良仁	15:00~16:00 交流セッション14 看護教育における“からだ気づき”の展開と実践—「感じる」「動く」「ひらく」「かかわる」「表す」— 永井 睦子	15:10~16:10 理事会企画4 OD これからの看護基礎教育における倫理—倫理指針の活用に向けて 企画:倫理委員会	15:00~15:30 ポスター討論06 P-06-01~P-06-13 15:30~16:00 ポスター討論07 P-07-01~P-07-13
16:00				16:00~16:45 ポスター撤去
17:00				
18:00				
懇親会 (18:10~ THE BANKS Restaurant Café)				

2日目 2026年8月30日(日)

	第1会場	第2会場	第3A会場	第3B会場
	5階 大ホール	5階 小ホール	10階 1004	10階 1005
9:00	8:50~10:20 シンポジウム3 OD これからのキャリア教育～ 多様化・デジタル化時代の 看護師キャリア支援～	8:50~9:50 理事会企画5 OD 世代を超えた本音トーク！ 看護学教育と共に歩み 続けるための秘訣 企画：将来構想検討委員会	8:50~9:50 交流セッション17 リフレクションへの誘い ―立場を超えて「教える ・学ぶ」を問い直す― 草間 賢介	8:50~9:50 交流セッション18 看護教育における「経験の質」を問い 直す―課外活動が育む学生の潜在的 な力とアイデンティティ形成― 芦原 由里
10:00	演者：勝原 裕美子、駒崎 俊剛 西 千秋、難波 奈保子 座長：小西 由起子、菅井 亜由美			
		10:00~11:00 教育講演2 OD 個別最適化時代における プロフェッショナリズム教育の挑戦 演者：佐野 睦夫 座長：川北 敬美、赤崎 英美	10:00~11:00 交流セッション22 看護学生の日常生活習慣の実態から ―基礎看護教育における患者理解を 促す取り組みの検討― 中西 真由美	10:00~11:00 交流セッション23 看護学生のために医学生が作製した 解剖生理学的教育ツールをワクワク ドキドキしながら体験してみませんか？ 瀧澤 敬美
11:00	10:30~12:00 シンポジウム4 OD 臨地実習で活躍する CNE (Clinical Nurse Educator)・臨床教員の 現在地と挑戦 演者：小山田 恭子、本間 織重 別府 千恵 座長：細田 泰子、日高 朋美			
		11:10~12:10 理事会企画6 OD 学習成果とその可視化 ―測りすぎ評価からの脱却 企画：研究推進・研究助成委員会	11:10~12:10 交流セッション27 学びを一句に～「短詩」もて 学び深むる 看護の知～ 則竹 翔	11:10~12:10 交流セッション28 看護の“観察力”を可視化する ―表情解析AIツールを体験し、 看護教育への活用を考える― 稲野辺 奈緒子
12:00				
	12:30~13:30 共催セミナー5 看護過程の指導ポイント ～アセスメント・問題抽出編～ 演者：石川 ふみよ 座長：八塚 慧子 共催：株式会社メディックメディア	12:30~12:50 最優秀演題賞 表彰式		
13:00			13:00~14:00 交流セッション32 地域在宅看護学教育における AIを活用した臨床推論の検討 ―演習を中心にした教育デザイン― 王 麗華	13:00~14:00 交流セッション33 実習の振り返りをどう支援する？ ―リフレクションを構造化する ツールの活用― 飯岡 由紀子
14:00	13:50~14:50 教育講演3 VUCAの時代を生き抜く学生 たちに必要な能力と教育の実際 演者：溝田 岳 座長：斉藤 しのぶ、山岡 由実	13:40~14:40 理事会企画7 OD 連携・協働を軸とした 危機に対応するための 災害看護教育 企画：災害支援対策委員会		
15:00		14:50~15:50 理事会企画8 OD 新たな論文種別【教育実践 ノート】でユニークな教育 実践を共有しよう 企画：編集委員会	14:10~15:10 交流セッション37 診療報酬制度が動き出した！ 健康の社会的決定要因(SDH)と 臨床事例のストーリーから 看護教育を考える 岡本 美代子	14:10~15:10 交流セッション38 看護学生がICTを活用した生活を 創造する学び―生活・医療・看護 のつながりを考える学び― 金久保 愛子
	15:00~16:30 シンポジウム5 OD 高度実践看護師教育の変革 ～実践と研究の架け橋となる DNPに焦点をあてて～		15:20~16:20 交流セッション42 オープンダイアログ 研修を受講して 和住 淑子	15:20~16:20 交流セッション43 主体性と創造性を育む看護学教育 ～アントレプレナーシップ教育の 実践デザイン：教員と臨床の対話 から～ 成瀬 愛子
16:00	演者：吉田 俊子、井出 由美 榎戸 文子、若本 恵子 座長：鈴木 久美、真継 和子			
	16:30~16:50 閉会式			
17:00				
18:00				

	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	ポスター会場
	10階 1006	10階 1007	10階 1008	10階 1009	10階 1001-1003
9:00	8:50~9:50 交流セッション19 「見えるもの」から「見えないもの」をみる～アセスメントを深める看図アプローチ～ 山下 雅佳実	8:50~9:50 交流セッション20 Civility Exemplar Club onlineによる看護教育資源の開発 金城 芳秀	8:50~9:50 交流セッション21 地域とつながる遠隔看護を担う看護職育成の取り組み 古都 昌子	8:50~9:50 口演05 臨地実習2 座長:村中 陽子 O-05-01～O-05-06	9:20~10:00 ポスター貼付
10:00	10:00~11:00 交流セッション24 自らの学びを調整し、協働で高める自己調整学習 徳永 なみじ	10:00~11:00 交流セッション25 看護場面の再構成法の教育的活用を考えるー領域横断・学年縦断で考える省察教育ー 小川 雅代	10:00~11:00 交流セッション26 学習者中心と教師中心、何が違うのか 吉田 文子	10:00~11:00 口演06 看護技術教育・臨地実習3・その他 座長:林 静子 O-06-01～O-06-06	10:00~10:30 ポスター討論08 P-08-01～P-08-11 10:30~11:00 ポスター討論09 P-09-01～P-09-11
11:00	11:10~12:10 交流セッション29 看護基礎教育における歴史の継承ー看護の原点を振り返ってー 田中 幸子	11:10~12:10 交流セッション30 看護実習場面の教材化ー学生が“看護を経験する瞬間”をどう支えるかー 堀内 晃代	11:10~12:10 交流セッション31 プロフェッショナルな姿勢を育む基礎看護学の授業デザインー実践能力強化を目指したシームレス教育ー 渡邊 恵	11:10~12:10 口演07 新人教育 座長:任 和子 O-07-01～O-07-06	11:00~11:30 ポスター討論10 P-10-01～P-10-10 11:30~12:00 ポスター討論11 P-11-01～P-11-10 12:00~13:30 ポスター閲覧
12:00	13:00~14:00 交流セッション34 地域の実情にあった新卒訪問看護師の人材確保および質の向上に向けた工夫と課題共有 佐藤 富美子	13:00~14:00 交流セッション35 学生が動く! 学びが変わる!ー協同学習で実現する“学生が主役”の技術演習ー 伊勢根 尚美	13:50~14:50 交流セッション36 臨地実習で教員はなぜ困る?! 精神・発達障害のある当事者の「語り」から紐解くこれからの多様な学生支援 瀬戸山 陽子	12:30~13:30 共催セミナー6 「送電線の電磁波って危ないの?」ーWHOの見解を紹介しますー 演者:大久保 千代次 座長:渡邊 亮宏 共催:一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター	13:30~14:00 ポスター討論12 P-12-01～P-12-10 14:00~14:30 ポスター討論13 P-13-01～P-13-10 14:30~15:00 ポスター討論14 P-14-01～P-14-10 15:00~15:30 ポスター撤去 企業展示撤収
13:00	14:10~15:10 交流セッション39 受け身から主体的学習へ:協同学習を導入した基礎看護技術教育の実践 恒松 佳代子	14:10~15:10 交流セッション40 臨地実習における学習環境の質保証ー実習施設と大学の協働に焦点を当ててー 山住 康恵	15:00~16:00 交流セッション41 看護基礎教育と卒後教育の繋がりを考える Vol.7ー看護基礎教育と臨床の場で伝承する大切なことー 一色 潤子	13:50~14:50 口演08 継続教育 座長:撫養 真紀子 O-08-01～O-08-06 15:00~16:00 口演09 カリキュラム・教員の資質・能力 座長:水方 智子 O-09-01～O-09-06	
14:00	15:20~16:20 交流セッション44 看護教育を支える教育設計ー看護×情報の視点から考えるー 杉木 佐知子	15:20~16:20 交流セッション45 看護と学習の視座から捉える「コンセプト学習」:看護教育改革の挑戦と可能性 津波古 澄子			
15:00					
16:00					
17:00					
18:00					

学術集会にご参加の皆様へ

1. 受付日時・場所

受付場所	受付時間
大阪国際会議場 5階ホワイエ	8月29日(土) 8:30~16:15
	8月30日(日) 8:30~15:00

※ 可能な限りご来場前に、Web参加登録をしていただくようお願いいたします。

2. 参加登録費

参加区分	第1次登録 3/16~5/31	第2次登録 6/1~10/16
会員 ※1	11,000円	13,000円
非会員	13,000円	15,000円
学生(大学院生を除く) ※2	無料	

※ 参加費は会員が「不課税」、非会員が「課税(10%込)」となります。

※1 会員(日本看護学教育学会会員)の方は参加登録の際、会員番号の入力が必要になります。会員番号をお忘れの場合は、日本看護学教育学会までお問い合わせください。

一般社団法人日本看護学教育学会 事務局(毎日学術フォーラム内)
E-mail:maf-jane-contact@mynavi.jp
TEL:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555

※2 学生の方で、事前登録後に学生証の提示がお済でない方は、会期当日に受付にて学生証をご提示いただきますので、ご持参ください。

なお、社会人学生および大学院生の方は「会員」または「非会員」でお申し込みください。

3. 受付

【事前の参加登録ならびに参加費の決済がお済みの方】

- 1) 参加登録で決済を完了している方は、ご登録いただいたメールアドレス宛に届いた「日本看護学教育学会第36回学術集会への参加登録完了」のメールから、「ネームプレート」をダウンロード・カラー印刷して、当日会場にご持参ください。
- 2) クレジットカード決済をしていただいた方は、参加者登録サイト(「Payventログイン」と検索)の参加者ログインからご登録いただいたメールアドレスにてログインいただく方法でも、「ネームプレート」をダウンロードできます。
- 3) クレジットカード決済をしていただいた方の「ネームプレート」には、二次元コードが記載されています。当日は、二次元コードを5階受付の読み取り端末にかざして、ご入場登録をしてください。
- 4) お振込みの方の「ネームプレート」には、ご自身でご記名をお願いします。なお、二次元コードはございませんので、5階受付にてご入場登録をしてください。
- 5) ネームホルダーは、受付に準備しております。
- 6) 参加登録と決済を完了している方で、参加登録完了のメールが届かない場合には、学術集会事務局(jane36-kikaku@ompu.ac.jp)までお問い合わせください。なお、お振込みの方で8月21日以降にお振込みされた方には、参加登録完了のメールをお送りできませんので、5階受付にてネームプレートをお受け取りください。また、直前にお振込みされますと、照会できませんので、8月21日までにお振込みをお願いします。

【参加費が未決済の方・当日参加の方】

- 1) 当日参加登録の方は、WEB受付（クレジット決済のみ）となります。
- 2) WEBでの参加登録および参加費の決済完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に送信される「日本看護学教育学会第36回学術集会への参加登録完了」のメール内の参加受付用二次元コードをお持ちのスマートフォン等に表示し、受付の読み取り端末にかざしてご入場ください。
- 3) 印刷したネームプレートは、受付にてお渡ししますので、ご自身でご記名をお願いします。

4. 領収証、参加証明書について

- 1) クレジットカード決済の方は、「ネームプレート」をダウンロードいただいたメールから、「領収書」と「参加証明書」をダウンロードいただけます。参加登録サイト（「Payventログイン」と検索）から、ご登録いただいたメールアドレスにてログインいただく方法でも、「領収書」と「参加証明書」をダウンロードいただけます。
- 2) なお、「参加証明書」は8月29日以降の発行となります。お振込みの方には、9月中旬頃までにご登録いただいたメールアドレスに参加証明書をお送りします。

5. プログラム集、講演集

- 1) 会員の皆様には、プログラム集を事前発送いたします。会場での再配布はございません。
- 2) 非会員の方で第1次登録をされた皆様には、事前にプログラム集を発送いたします。第2次登録をされた皆様には、当日現地で入場受付の際にお渡しいたします。
- 3) 第2次登録で非会員、かつオンラインのみでご参加の皆様には、データ閲覧のみとなります。ご登録いただきましたメールアドレスに、ダウンロードについてご案内いたします。
- 4) 「講演集」はデータ閲覧のみとなります。参加登録と決済がお済みの方には、ご登録いただきましたメールアドレスに、ダウンロードについてご案内いたします。
- 5) 「講演集」の印刷販売はいたしませんので、ご了承ください。

6. Wi-Fiサービス

会場の大阪国際会議場（グランキューブ大阪）にはフリーWi-Fiがございます。
会期中、会場内にてSSIDおよびパスワードを掲示させていただきます。
なお、諸条件により接続具合が変動する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

7. 共催セミナー（ランチョンセミナー）

- 1) 共催セミナー（ランチョンセミナー）にお申込みいただいた方には、共催セミナーの登録完了時に届いたメールから、共催セミナー用の「ネームプレート」をダウンロード・印刷して、当日会場にご持参ください。
- 2) 8月29日と30日の各日にお申込みをいただいた方は、それぞれの「ネームプレート」のダウンロード・印刷をお願いします。
- 3) 共催セミナー会場前にて、学術集会ネームカードおよび共催セミナー用のネームプレートをご提示の上、当該の講演会場にご入室ください。
- 4) 共催セミナーをお申込みされていない場合でも、席に空きがあれば聴講のみ可能です。
- 5) 共催セミナー開始5分後には、お弁当の引換えが無効となりますのでご注意ください。

8. 懇親会

日 時：2026年8月29日(土) 18:10～(予定)

場 所：THE BANKS Restaurant & Café

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-60 バンクスCENTER 1階

参加費：8,000円

定 員：50名(満席となり次第、お申し込み終了とさせていただきます)

※参加登録時にお申し込みをいただいた方には、参加証(ネームカード)に「懇親会」参加の内容が記載されておりますので、直接、懇親会会場へお越しいただき、受付をお済ませください。

※懇親会の参加をキャンセルされる場合、懇親会参加費の返金はできませんので、あらかじめご了承ください。

9. 企業展示・大学展示・書籍展示

看護学教育に関係した
企業展示・大学展示・書籍展示を
実施いたしますので、
ぜひともご利用ください。

日程	時間	場所
8月29日(土)	9:00～17:00	大阪国際会議場 10階 1001～1003
8月30日(日)	9:00～15:00	

10. クローク

会期中は、大阪国際会議場5階にクロークを設置いたします。

貴重品、パソコンなど機器類、生鮮食品、壊れやすいもの、傘はお預かりできません。
また、日をまたぐお預かりはできませんので、必ず日ごとの受け取りをお願いいたします。

日程	時間
8月29日(土)	8:30～18:00
8月30日(日)	8:30～17:00

11. 遺失物・拾得物

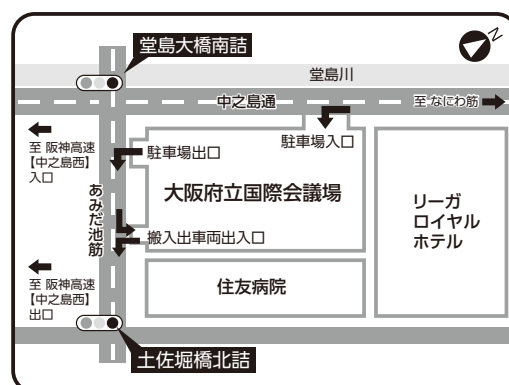
会期中は総合受付(大阪国際会議場 5階)にて保管いたします。

12. 駐車場

(※ご来場には公共交通機関をご利用いただくことをお勧めいたします。)

大阪国際会議場 地下1階に駐車場がありますが、最大料金制ではございません。

ご利用料金	1時間 510円		
ご利用時間	8:00～22:00	収 容 台 数	304台
車 高 制 限	2.1m(搬入出口は3.7m)		車 長 制 限 5.0m



13. 託児施設のご案内

《お申し込み》

お子さまをお預けになるご希望の日時を、次項の託児施設へ直接お申し込みください。
その際、お子さまの「お名前・年齢・性別」と「保護者の方のご連絡先」が必要となります。

《ご利用のお申込み・お問合わせ》※ご利用には事前のご予約が必要です。

〈リーガロイヤルホテル内 託児施設〉

- ・ 営業時間：10:00～21:00 (ご希望により最大7:00～23:00)
- ・ 対象年齢：新生児～未就学児 (小学生以上のお子さまはご相談ください。) ※健康なお子さま
- ・ 利用料金：お子さまお一人につき最初の2時間まで¥6,600 以降30分ごと¥1,650 (税込)
(7:00～10:00 / 21:00～23:00 のお預かりは、別途時間外料金が必要となります。
詳しくは下記までお問い合わせください。)
- ・ 施設定員：10～15名 (入室されるお子さまの年月齢による)
TEL: 06-6445-1343 HP: <http://www.littlemate.co.jp/>

14. 取材について

一般社団法人 日本看護学教育学会第36回学術集会におきまして、取材をご希望されます場合は、以下の項目を遵守するものとします。万が一、本規定に反した場合は、貴社に対して対応を申し入れる場合があることをご了承下さい。

＜取材規定＞

1. 学術雑誌等の記者の方、新聞・テレビ・ラジオ等の報道関係の方は「プレス」としてご参加いただき、取材活動が可能です。取材をご希望の方は事前に運営事務局 (jane36@intergroup.co.jp) までご連絡ください。
2. 当日は5階総合受付までお越しいただき、社員証の提示または名刺をご提出いただいた上でプレス証をお受け取り下さい。取材中はプレス証を身に付けてください。また、お帰りの際は総合受付にプレス証をご返却ください。
3. 写真撮影、ビデオ撮影、録音については、事前の許可が必要です。会期中に会場内で直接取材をご希望の場合には、発表者および座長、その他撮影対象の方に事前に許可を得てから、取材を行ってください。

※展示の企業などへの取材および内容掲載に関しましては、必ず当該企業に承諾を得てください。

※共催セミナーに関しては、必ず共催社に取材の承諾を得てください。

※運営事務局では、当該個人様への仲介はできかねますので、予めご了承ください。

a) 講演者・座長への許可は事前に取材者様からご本人へ書面にて許可をお取りください。(書面の書式に指定はございません。) 許可を受けた書面は、事前に運営事務局宛 (jane36@intergroup.co.jp) にご提出ください。提示いただけない場合は取材をお断りさせていただきます旨ご了承ください。
なお、運営事務局では仲介できかねますので、予めご了承ください。

b) 発表のスクリーン映像およびポスターは、全て著作物です。許可のない撮影および転載・放送等の二次利用はできません。

c) 写真撮影、ビデオ撮影、録音等は、講演の邪魔にならないようご配慮ください。(講演中のフラッシュおよびバッテリーライト等の使用はお控えください。)

4. 本学術集会について記事掲載または放映される場合は、掲載誌、放映日時などを必ず事前に運営事務局にご連絡いただきますようお願いいたします。また、成果物は必ず本学術集会の会長に事前に内容を確認の上、掲載・放映をお願いいたします。なお、掲載・放映内容については倫理的側面に十分ご配慮いただきますようお願いいたします。
5. 講演集は2,200円(税込)にて閲覧用二次元コードをご購入いただけます。ご希望の方は、総合受付までお越しください。

15. 救護室について

当日会場には救護室をご用意しております。気分が悪くなられた方や体調の優れない方がいらっしゃいましたら、お近くの学会運営スタッフもしくは5階総合受付へお声がけください。

16. その他 ・ 大阪国際会議場の建物内は全て禁煙となっております。

- ・ 会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ 会場内での呼び出しはおこないません。
- ・ 災害発生時は、各会場内の避難誘導に従って、避難してください。
- ・ 会場周辺の飲食店は右記二次元コードよりご確認ください。



最優秀演題賞

- ・ 看護学教育の発展に向けた研究の活性化を目指すために、「最優秀演題賞」を設けます。
- ・ 最優秀演題賞は、「発展部門」と「育成部門」のそれぞれで口演と示説から選出されます。(計4演題)

発展部門

今後の看護学教育の発展に寄与する口演・示説発表演題

育成部門

先見性に富み、将来の看護学教育の発展に資する45歳未満(演題締切日時点)の口演・示説発表演題

日程	種別	時間	場所
8月29日(土)	育成部門 口演	10:00～11:00	第7会場 10階 1009
	発展部門 口演	11:10～12:10	第7会場 10階 1009
	育成部門 示説	11:00～11:30	ポスター会場 10階 1001～1003
	発展部門 示説	11:30～12:00	ポスター会場 10階 1001～1003

<選出方法>

- ・ 各部門の最優秀演題賞は、参加者による投票と審査員による審査により決定します。

<参加者投票方法>

- ・ 会場内掲示のフォームへアクセスし、おひとり各部門1票投票いただけます。

<投票期間>

- ・ 口演：セッション終了後より14:30まで
- ・ 示説：セッション開始から14:30まで

<受賞者の発表>

- ・ 優秀演題賞受賞の皆様におかれましては、最優秀演題賞受賞の有無にかかわらず、授賞式にご参加をお願いいたします。
- ・ 最優秀演題賞受賞者の方には事務局より2日目の朝9時までにご連絡いたしますので、表彰式への参加可否のご返答をお願いいたします。
- ・ 最優秀演題賞および優秀演題賞は後日ホームページにて発表・掲載いたします。

会員総会

日時：8月29日(土) 16:45～17:45 会場：第1会場(5階 大ホール)

- ・ 日本看護学教育学会会員のみ出席することができます。
- ・ 現地開催のみとなります。オンライン開催はございません。
- ・ 会員総会に関して、ご不明な点、ご質問がある方は、下記の学会事務局宛に電話もしくはメールにてお問い合わせください。

お問い合わせ先：一般社団法人日本看護学教育学会 事務局(毎日学術フォーラム内)

E-mail:maf-jane-contact@mynavi.jp

TEL:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555

学会終了後のオンデマンド配信について

オンデマンド視聴

下記のプログラムをオンデマンド配信いたします。

【オンデマンド配信期間】 2026年9月15日(火)～2026年10月16日(金)

最新情報は、学術集会ホームページでご確認ください。

セッション	オンデマンド配信期間 9月15日(火)～10月16日(金)
会長講演	○
基調講演	○
特別講演	○
教育講演 1	○
教育講演 2	○
教育講演 3	×
シンポジウム 1	○
シンポジウム 2	○
シンポジウム 3	○
シンポジウム 4	○
シンポジウム 5	○
文部科学省・厚生労働省講演	×
市民公開講座	○
理事会企画1（看護学教育制度関連委員会）	○
理事会企画2（広報・渉外・社会貢献委員会）	×
理事会企画3（教育活動委員会）	×
理事会企画4（倫理委員会）	○
理事会企画5（将来構想検討委員会）	○
理事会企画6（研究推進・助成委員会）	○
理事会企画7（災害支援対策委員会）	○
理事会企画8（編集委員会）	○
共催セミナー（ランチョンセミナー 1～6）	×
一般演題（口演）	×
一般演題（ポスター／現地会場発表）	×
交流セッション（現地開催）	×
最優秀演題賞セッション（口演）	×
最優秀演題賞セッション（示説）	×

座長の方へのご案内

1. 対象セッションの座長の方へ

対象セッション

会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム
文部科学省・厚生労働省講演

- (1) 大阪国際会議場 5階 ホワイエに「座長受付」を設置いたします。
ご担当されるセッションの開始1時間前までに受付をお済ませいただき、控室にて事前のお打ち合わせを予定しております。
- (2) ご担当されるセッションの開始10分前までには、各会場内の前方右側にある次座長席までお越しのうえ、会場スタッフにお声をおかけください。
- (3) 各セッションの進行は、座長にお任せいたします。演者・シンポジストとお打ち合わせのうえ、時間内に終了するように進行をお願いいたします。
- (4) 一部セッションを除いて、ご講演内容（質疑は含まない）をZoom上で録画し、オンデマンド配信する予定です。
- (5) 録画に際し、トラブルが発生した場合などは、少々お待ちいただく場合がございますことを、あらかじめご了承ください。

2. 一般演題（口演）の座長の方へ

- (1) 大阪国際会議場 5階 ホワイエに「座長受付」を設置いたします。ご担当されるセッションの開始1時間前までに受付をお済ませください。
- (2) ご担当されるセッションの開始10分前までには、各会場内の前方右側にある次座長席までお越しのうえ、会場スタッフにお声をおかけください。
- (3) 口演は、1演題10分（発表7分、質疑応答3分）です。時間厳守にて進行をお願いいたします。
- (4) 発表者の欠席が出た場合は、セッション内で発表を繰り上げて進行してください。
- (5) セッション開始時間の繰り上げはおこないませんので、時間になりましたら予定通り開始してください。

3. 一般演題・示説（最優秀演題賞候補セッション）の座長の方へ

- (1) 大阪国際会議場 5階 ホワイエに「座長受付」を設置いたします。ご担当されるセッションの開始1時間前までに受付をお済ませください。
- (2) ご担当されるセッションの開始15分前までには、ポスター会場までお越しください。
- (3) 発表は、1演題5分（質疑応答時間なし）です。

演者の方へのご案内

1. 対象セッションの演者の方へ

対象セッション

基調講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、
文部科学省・厚生労働省講演、市民公開講座、理事会企画

- (1) 大阪国際会議場5階ホワイエに「演者受付」を設置します。ご来場の際には受付へお越しください。担当されるセッションの開始1時間前までに受付をお済ませください。
なお、事前打合せが予定されておりますセッションはお時間までに控室にお越しください。
- (2) 一部セッションを除き、ご講演内容（質疑は含まない）を録画し、オンデマンド配信する予定です。
- (3) 録画に際しトラブルが発生した場合などは少々お待ちいただく場合がございますことご了承ください。

2. 全ての演者の方へ

- ・ご発表は事務局で用意したパソコンとプロジェクターをご使用ください。
- ・下記の事項にご留意いただき、ご準備をお願いいたします。
- ・ファイル名は「発表番号_ 名前(フルネーム)」としてください。(例: O1-1_ 大阪花子)

《発表時における利益相反(COI)の開示について》

第36回学術集会では、利益相反について開示をお願いしております。

該当するCOI状態について、発表スライドの2枚目(または、演題・発表者などを紹介するスライドの次)に開示してください。

COI 自己申告基準及び、開示スライドの見本は以下の通りとなります。

一般社団法人 日本看護学教育学会 第36回学術集会
COI 開示

筆頭演者名: _____

今回の演題に関して開示すべきCOIは以下のとおりです。

企業名等

役員・顧問職	A製薬
講演料等	B医療機器メーカー
原稿料等	C出版社

一般社団法人 日本看護学教育学会 第36回学術集会
COI 開示

筆頭演者名: _____

今回の演題に関して開示すべきCOIはありません。

3. 全ての演者の皆様へ(示説・交流セッションを除く)

(1) 発表データの受付

《PC受付・時間》

8月29日(土) 8:30～16:00

8月30日(日) 8:30～14:50

《受付場所》

大阪国際会議場 5階 ホワイエ

8月29日(土)に8月30日(日)のデータ受付をしていただくことも可能です。

- (1) 30日(日)午前の発表者の方ではできるだけ、29日(土)にデータ提出をお願いいたします。
- (2) 発表時間の30分前までにPC受付にて、発表データの提出、試写確認をお済ませください。
- (3) セッション進行時間の都合上、各発表会場内 および PC受付での画像修正はできませんので、必ず事前にご確認をお願いいたします。

《PCをお持ち込みになる場合》

- (1) 利用機種、OS、アプリケーションに制限はありませんが、外部出力の接続はHDMIモニター出力端子によるモニター出力に限ります。一部のノートパソコンでは変換アダプターが必要な場合がございますので、必ず各自でご用意ください。
- (2) PCをご持参いただく場合でも、PC受付にて必ず動作確認をおこなってください。
- (3) スクリーンセーバー、省電力設定、ウィルスチェック ならびに 起動時のパスワードはあらかじめ解除しておいてください。
- (4) 電源ケーブルは必ずご持参ください。
バッテリーのご使用はトラブルの原因となりますのでお控えください。
- (5) 必ずバックアップ用データ (USBメモリー) をご持参ください。
- (6) PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。
- (7) 発表原稿が必要な方は、あらかじめ原稿をプリントアウトしてお持ちください。
- (8) 発表終了後は会場内左手前方のPCオペレーションデスクにてPCをご返却いたします。
スペースの関係上、講演終了後は速やかにお引取りをいただきますようお願いいたします。

(2) 発表データの作成について

- (1) 講演会場でご用意するPCのOSは、Windows11です。
- (2) 講演会場でご用意するPPTのバージョンは Office365 となります。
- (3) スクリーンへ映写する画面サイズは16:9です。
- (4) 動画や音声を発表で使用される場合は、必ずPC受付にてお申し出ください。
※動画ファイル形式はmp4・wmvを推奨
- (5) USBメモリーに、発表用ファイルをコピーしてご持参ください。
- (6) 発表ファイルには、演題番号と発表者名をファイル名として設定してください。
- (7) 音声や動画データがある場合は、必ずオリジナルデータもご持参ください。
- (8) メディアを介したウィルス感染の事例がありますので、最新のウィルスチェックソフトでスキャンをおこなってください。

- (9) PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。
 - (10) 発表原稿が必要な方は、あらかじめ原稿をプリントアウトしてお持ちください。
 - (11) データ持込、PC本体持込みのいずれの場合も、スライド送りの操作につきましては演台上的マウス、キーボードをご使用のうえ、ご自身で操作していただきます。
 - (12) 発表のためお預かりしたデータは、学会終了後に事務局で責任を持って消去いたします。
- お持込時の注意事項 ① メディアの形式はUSB、もしくはUSBへの変換が可能な形式でお持ちください。
※メディアは、最新のウイルス駆除ソフトでチェックをしてください。
- ② Macにて発表データを作成された場合には、必ずご自身のPCおよび変換ケーブルをご持参ください。

(3) 発表について

- (1) セッション開始の10分前(到着確認のため)には、各会場内の前方左側の次演者席にご着席ください。
- (2) 担当オペレーターが会場内プロジェクターへのPC接続をおこないますが、発表中のPC操作はご自身でおこなってください。
- (3) 一般演題(口演)の1演題あたりの発表時間は10分(発表7分、質疑応答3分)です。
- (4) 基調講演・特別講演・教育講演・シンポジウム・文部科学省／厚生労働省講演・市民公開講座は座長の進行指示に従って発表してください。
- (5) 持ち時間を厳守し、円滑な運営にご協力をお願いいたします。なお、発表時のトラブルによる時間延長は、原則として認められませんので、あしからずご理解ください。

4. 交流セッション

- (1) 交流セッションは自主運営ですが、トラブル時には会場スタッフにご相談ください。
- (2) 会場内にPC、プロジェクター、スクリーン、マイクを準備しております。
- (3) 発表データは直接会場までお持ちください。(PC受付はございません)
USBなどの端末でデータをお持ちの場合は会場のPCへ接続してください。
ご自身のPCをご使用になる場合は会場内のPCとケーブルを繋ぎ変えてご使用ください。
- (4) セッションの持ち時間は準備・後片付けを含みます。時間内に終了するようにしてください。
- (5) ご自身のPCをご利用の場合は、利用機種、OS、アプリケーションに制限はありませんが、バックアップデータおよびACアダプターを直接会場にお持ちください。
- (6) 会場のプロジェクターへは、HDMIモニター出力端子での接続となります。
それ以外の場合は変換アダプターをご自身でご持参ください。
- (7) スライドデータ内の音声は流すことはできません。
データ内に音声が含まれている場合は、事前に運営事務局までご相談ください。
- (8) 交流セッションの控室はございません。事前に関係者での打ち合わせはお済ませください。
- (9) 終了後、会場内の椅子やテーブルは使用前のレイアウトに復元してください。
- (10) 発表時の利益相反(COI)についての開示をお願いします。

5. 理事会企画

別途、個別にご連絡させていただきます。

6. 一般演題（示説）

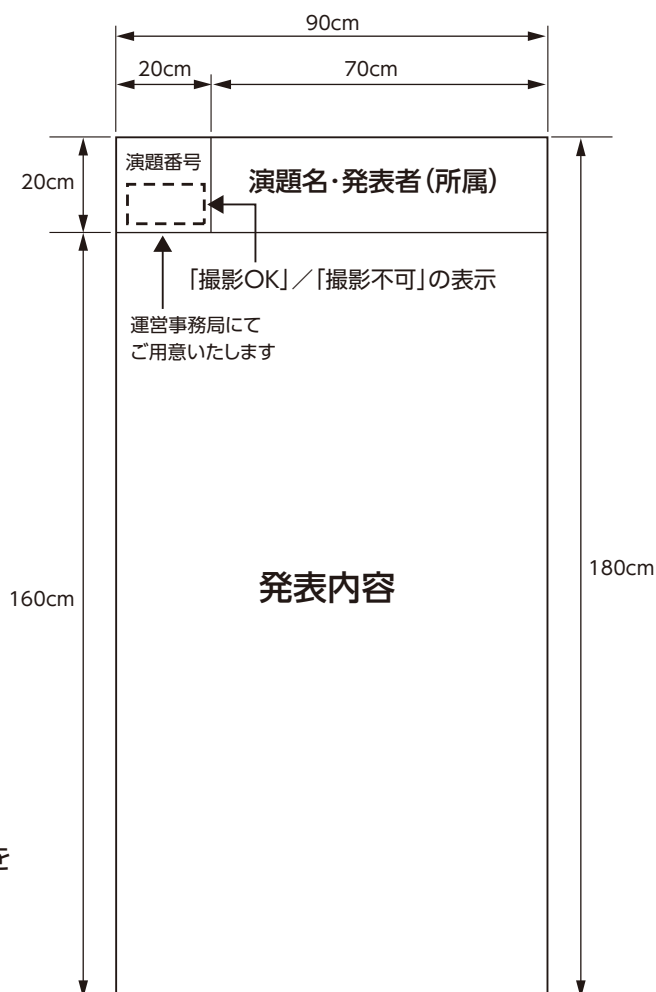
下記の事項にご留意いただき、ご準備ください。

（1）ポスター作成について

- ① ポスターパネルの大きさは、幅90cm×高さ180cmです。
- ② 左上の演題番号（20cm×20cm）は運営事務局でご用意いたします。
- ③ 演題名、発表者名（共同研究者名も含む）、所属機関名は本文の上端に幅70cm×高さ20cm のサイズ内に記載してください。
- ④ ポスター内で利益相反（COI）の開示をお願いいたします。

（2）ポスター作成について

- ① ポスターは指定されたパネルに提示してください。
- ② ポスターの掲示は画鋲をご使用ください。（画鋲は会場でご用意いたします）
- ③ 学術集会当日に事務局が用意する「撮影OK」、「撮影不可」のいずれかの表示を演題番号の下に貼付してください。



（3）ポスター発表

- ① 座長はおりませんので、所定の時刻になったらご自身のポスター前で、参加者の方との討議をしてください。
- ② ただし最優秀演題賞候補セッションにつきまして、座長の進行指示に従い、1演題5分（質疑応答時間なし）の発表をお願いいたします。

（4）ポスター掲示と撤去について

- ① ポスターは、1日ごとに貼り替えます。
発表日の掲示時間にポスターの掲示をおこなってください。
- ② ポスターの掲示、撤去は、発表者が行ってください。
- ③ 指定された時間に撤去されていないポスターは事務局にて破棄しますので、ご注意ください。

日程	掲示時間	撤去時間	会場
8月29日（土）	8:50～10:00	16:00～16:45	ポスター会場 （1001-1003）
8月30日（日）	9:20～10:00	15:00～15:30	

プログラム

I. 会長講演

会長講演 2026年8月29日(土) 9:10-9:50

第1会場/大ホール

看護学教育における革新と伝承

演者: 池西 悦子 (大阪医科薬科大学看護学部)

座長: 岡本 恵里 (富山県立大学大学院看護学研究科)

II. 基調講演

基調講演 2026年8月29日(土) 10:00-11:00

第1会場/大ホール

AIとともに働く未来: 教育・医療現場における効用と課題

演者: 藤本 昌代 (同志社大学社会学部)

座長: 池西 悦子 (大阪医科薬科大学看護学部)

III. 特別講演

特別講演 2026年8月29日(土) 11:10-12:10

第1会場/大ホール

暗黙知の伝承と「わざ言語」: 未来の教育への新たなアプローチ

演者: 北村 勝朗 (日本大学理工学部/日本大学大学院スポーツ科学研究科)

座長: 前川 幸子 (兵庫医科大学大学院看護学研究科 看護教育学)

IV. 教育講演

教育講演 1 2026年8月29日(土) 15:30-16:30

第1会場/大ホール

越境の学びを看護の新たな知の創造につなげる 相互作用による知の循環と変革を促す人材育成の視点から

演者: 伊達 洋駆 (株式会社ビジネスリサーチラボ)

座長: 西園 貞子 (奈良学園大学保健医療学部看護学科)

教育講演 2 2026年8月30日(日) 10:00-11:00

第2会場/小ホール

個別最適化時代におけるプロフェッショナリズム教育の挑戦

演者: 佐野 睦夫 (大阪工業大学情報科学部)

座長: 川北 敬美 (大阪医科薬科大学看護学部)

赤崎 芙美 (大阪医科薬科大学看護学部)

教育講演 3 2026年8月30日(日) 13:50-14:50

第1会場/大ホール

VUCAの時代を生き抜く学生たちに必要な能力と教育の実践

演者: 溝田 岳 (文部科学省 科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課産業連携推進室)

座長: 斉藤 しのぶ (千葉大学大学院看護学研究院)

山岡 由実 (大阪医科薬科大学看護学部)

V. シンポジウム

シンポジウム 1 2026年8月29日(土) 13:50-15:20

第1会場/大ホール

地域包括ケアを担う看護職教育における革新 ～現任教育の先進的取り組みと基礎教育への期待～

演者:鍋谷 佳子(大阪大学医学部附属病院)
万屋 智子(泉佐野泉南医師会看護専門学校)
東口 三容子(堺市健康部健康医療政策課)
岡 順子(熊本保健科学大学保健学部看護学科・公衆衛生看護学専攻科)
座長:池西 静江(Office Kyo-Shien)
草野 恵美子(大阪医科薬科大学看護学部)

シンポジウム 2 2026年8月29日(土) 15:00-16:30

第2会場/小ホール

看護学で世界とつながる:国際交流の実際と将来的可能性 Connecting with the world through nursing: International exchanges in practice and future possibilities

演者:西田 好江(泉佐野泉南医師会看護専門学校)
戸田 登美子(大手前大学国際看護学部)
濱田 眞由美(専門学校 ベルランド看護福祉大学校)
座長:飛田 伊都子(大阪医科薬科大学看護学部)

シンポジウム 3 2026年8月30日(日) 8:50-10:20

第1会場/大ホール

これからのキャリア教育～多様化・デジタル化時代の看護師キャリア支援～

演者:勝原 裕美子(オフィスKATSUHARA)
駒崎 俊剛(東京医療保健大学医療保健学部)
西 千秋(大阪医科薬科大学病院看護部)
難波 奈保子(目白大学看護学部)
座長:小西 由起子(甲南女子大学看護リハビリテーション学部看護学科)
菅井 亜由美(独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院)

シンポジウム 4 2026年8月30日(日) 10:30-12:00

第1会場/大ホール

臨地実習で活躍するCNE(Clinical Nurse Educator)・ 臨床教員の現在地と挑戦

演者:小山田 恭子(聖路加国際大学大学院看護教育学)
本間 織重(昭和医科大学保健医療学部)
別府 千恵(北里大学病院看護部)
座長:細田 泰子(大阪公立大学大学院看護学研究科)
日高 朋美(大阪医科薬科大学看護学部)

高度実践看護師教育の変革 ～実践と研究の架け橋となるDNPに焦点をあてて～

演者: 吉田 俊子 (聖路加国際大学大学院看護学研究科)
井出 由美 (昭和医科大学大学院保健医療学研究科/昭和医科大学病院)
榎戸 文子 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科)
若本 恵子 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院)
座長: 鈴木 久美 (大阪医科薬科大学看護学部)
真継 和子 (大阪医科薬科大学看護学部)

Ⅵ. 文部科学省・厚生労働省講演

文部科学省・厚生労働省講演 2026年8月29日(土) 11:10-12:10

第2会場/小ホール

看護系大学における看護教育の動向と課題／ 厚生労働省における看護行政の動向

演者: 加藤 治実 (文部科学省高等教育局医学教育課)
江藤 美和子 (厚生労働省医政局看護課)
座長: 前田 ひとみ (熊本保健科学大学大学院保健科学研究科)

Ⅶ. 市民公開講座

市民公開講座 2026年8月29日(土) 12:30-13:30

第2会場/小ホール

酒づくりにおける革新と伝承

演者: 高橋 俊成 (菊正宗酒造株式会社総合研究所)
座長: 小林 道太郎 (大阪医科薬科大学看護学部)

Ⅷ. 理事会企画

理事会企画1 2026年8月29日(土) 10:00-11:00

第2会場/小ホール

新カリキュラム: 評価をどう捉え、どう進めるか

企画: 看護学教育制度関連委員会

理事会企画2 2026年8月29日(土) 13:50-14:50

第2会場/小ホール

看護の先生って何しているの? 一若手看護教員のお仕事を知ろうー

企画: 広報・渉外・社会貢献委員会

理事会企画3 2026年8月29日(土) 13:50-14:50

第7会場/1009

学生の学びと成長を促す教育評価

企画:教育活動委員会

理事会企画4 2026年8月29日(土) 15:10-16:10

第7会場/1009

これからの看護基礎教育における倫理 ―倫理指針の活用に向けて

企画:倫理委員会

理事会企画5 2026年8月30日(日) 8:50-9:50

第2会場/小ホール

世代を超えた本音トーク! 看護学教育と共に歩み続けるための秘訣

企画:将来構想検討委員会

理事会企画6 2026年8月30日(日) 11:10-12:10

第2会場/小ホール

学習成果とその可視化―測りすぎ評価からの脱却

企画:研究推進・研究助成委員会

理事会企画7 2026年8月30日(日) 13:40-14:40

第2会場/小ホール

連携・協働を軸とした危機に対応するための災害看護教育

企画:災害支援対策委員会

理事会企画8 2026年8月30日(日) 14:50-15:50

第2会場/小ホール

新たな論文種別【教育実践ノート】でユニークな 教育実践を共有しよう

企画:編集委員会

共催セミナー

LS-1 8月29日(土) 12:30～13:30

第1会場/大ホール

F.CESS Nurseによるデータドリブンが拓く看護教育の未来 ～「溜まるデータ」から「IRデータ」へ転換する教育の質保証戦略～

演者: 藤田 比左子/羽根田 洋 (株式会社永和システムマネジメント)

座長: 藤田 比左子 (株式会社永和システムマネジメント)

共催: 株式会社永和システムマネジメント

LS-2 8月29日(土) 12:30～13:30

第3会場(1004-1005)

全人的看護のために漢方の考えを活かす －看護学教育における漢方教育の必要性と伝えるべきポイント－

演者: 柳田 俊彦 (宮崎大学 医学部 看護学科/統合臨床看護科学講座臨床薬理学)

座長: 細田 泰子 (大阪公立大学大学院看護学研究科)

共催: 株式会社ツムラ

LS-3 8月29日(土) 12:30～13:30

第6会場(1008)

成人が学ぶ・成人を教えるとは ～ビエレマ他、成人学習: 理論と実践を結びつける(医学書院、2026)に寄せて

演者: 三輪 建二 (昭和医科大学認定看護師教育センター)

座長: 堀口 一明 (株式会社医学書院)

共催: 株式会社医学書院

LS-4 8月29日(土) 12:30～13:30

第7会場(1009)

「体験」が看護を変える －VRが拓く次世代看護教育－

演者: 合田 友美 (千里金蘭大学大学院看護学研究科/千里金蘭大学看護学部看護学科)

座長: 小幡 航介 (ビジネスエンジニアリング株式会社 ビジネスイノベーション本部 fDX事業推進室)

共催: ビジネスエンジニアリング株式会社

LS-5 8月30日(日) 12:30～13:30

第1会場/大ホール

看護過程の指導ポイント ～アセスメント・問題抽出編～

演者: 石川 ふみよ (上智大学総合人間科学部看護学科 成人看護学)

座長: 八塚 慧子 (株式会社メディックメディア 看護系コンテンツ事業部)

共催: 株式会社メディックメディア

LS-6 8月30日(日) 12:30～13:30

第7会場(1009)

「送電線の電磁波って危ないの？」－WHOの見解を紹介します－

演者: 大久保 千代次 (一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター)

座長: 渡邊 亮宏 (一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター)

共催: 一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター

交流セッション

交流セッション1

8月29日(土) 10:00-11:00 第3会場(1004-1005)

K-01 臨地実習における学びの質をどう支えるか —実習指導者と看護教員がともに学ぶ協働学習会の実践—

企画代表者:岡田 純子 (京都橘大学看護学部看護学科)

交流セッション2

8月29日(土) 10:00-11:00 第4会場(1006)

K-02 看工連携によるレビー小体型認知症の幻視理解を促進する AR教材の開発と教育的活用

企画代表者:坪井 桂子 (神戸市看護大学 看護学部)

交流セッション3

8月29日(土) 10:00-11:00 第5会場(1007)

K-03 憧れと現実の狭間で揺れ動く思いを支える —意思決定支援ツールOOVLによる学生主体の就職先選択の支援—

企画代表者:岡本 三佳 (関西国際大学 保健医療学部 看護学科)

交流セッション4

8月29日(土) 11:10-12:10 第3会場(1004-1005)

K-04 看護基礎教育におけるICTツールの活用に関する現状と課題 —2校の取り組みから—

企画代表者:森谷 利香 (摂南大学看護学部)

交流セッション5

8月29日(土) 11:10-12:10 第4会場(1006)

K-05 看護基礎教育における生成AIとの付き合い方 —学生の考える力を伸ばすには—

企画代表者:野崎 真奈美 (順天堂大学大学院医療看護学研究科)

交流セッション6

8月29日(土) 11:10-12:10 第5会場(1007)

K-06 看護のリアリティに触れる授業づくりの探求 —イメージ化と体感的理解を促す工夫—

企画代表者:村上 優子 (東京都立大学 健康福祉学部)

交流セッション7

8月29日(土) 13:00-14:00 第4会場(1006)

K-07 AIとゲーミフィケーションで拓く看護教育: 『法規かるた』と『多職種チャレンジ』が導く1年生の主体性

企画代表者:中島 正世 (前所属 創価大学看護学部看護学科)

交流セッション8

8月29日(土) 13:00-14:00 第5会場(1007)

K-08 語る・聴く・意味づける看護基礎教育を考える —「看護ナラティブ演習」の実践と学生の学び—

企画代表者:池田 清子 (神戸市看護大学)

交流セッション9

8月29日(土) 13:50-14:50 第3会場(1004-1005)

K-09 出張! 高齢者ケアの教師塾 in 大阪
高齢者を対象とした看護の実習記録再考

企画代表者:牛田 貴子 (湘南医療大学保健医療学部)

交流セッション10

8月29日(土) 13:50-14:50 第6会場(1008)

K-10 これでいいのか!! 看護教育の今
～次の世代に受け継ぐ看護とは～

企画代表者:目黒 悟 (元藤沢市教育文化センター)

交流セッション11

8月29日(土) 14:10-15:10 第4会場(1006)

K-11 『看護覚え書』に学ぶ生活科学Ⅲ「住居の健康」
—ナイチンゲールの病氣観:コントロールできる状態とは?—

企画代表者:小河 一敏 (宮崎県立看護大学 普遍分野(自然界と看護))

交流セッション12

8月29日(土) 14:10-15:10 第5会場(1007)

K-12 「リフレの会 in大阪」へようこそ!
—看護教育の事例をリフレクションする—

企画代表者:太田 祐子 (関西医科大学看護学部)

交流セッション13

8月29日(土) 15:00-16:00 第3会場(1004-1005)

K-13 Web教材Mission Townを活用した「地域を知る力」を
育む新たな教育方法の検討

企画代表者:渡辺 まゆみ (福岡女学院看護大学 看護学部)

交流セッション14

8月29日(土) 15:00-16:00 第6会場(1008)

K-14 看護教育における“からだ気づき”の展開と実践
—「感じる」「動く」「ひらく」「かかわる」「表す」—

企画代表者:永井 睦子 (岩手保健医療大学 看護学部)

交流セッション15

8月29日(土) 15:20-16:20 第4会場(1006)

K-15 教育学の視点を踏まえた教育評価の深化
—事例から問い直す評価のあり方—

企画代表者:大串 晃弘 (四国大学看護学部)

交流セッション16

8月29日(土) 15:20-16:20 第5会場(1007)

K-16 看護DXを推進できる看護師育成のためあなたの担当科目に
看護情報学のエッセンスを加えてみませんか(3)

企画代表者:遠藤 良仁 (岩手県立大学 看護学部)

交流セッション17

8月30日(日) 08:50-09:50 第3A会場(1004)

**K-17 リフレクションへの誘い
—立場を超えて「教える・学ぶ」を問い直す—**

企画代表者:草間 賢介 (大阪医科薬科大学大学院 看護学研究科 博士後期課程)

交流セッション18

8月30日(日) 08:50-09:50 第3B会場(1005)

**K-18 看護教育における「経験の質」を問い直す
—課外活動が育む学生の潜在的な力とアイデンティティ形成—**

企画代表者:芦原 由里 (パナソニック健康保険組合立松下看護専門学校)

交流セッション19

8月30日(日) 08:50-09:50 第4会場(1006)

**K-19 「見えるもの」から「見えないもの」をみる
～アセスメントを深める看図アプローチ～**

企画代表者:山下 雅佳実 (中村学園大学短期大学部)

交流セッション20

8月30日(日) 08:50-09:50 第5会場(1007)

K-20 Civility Exemplar Club onlineによる看護教育資源の開発

企画代表者:金城 芳秀 (沖縄県立看護大学)

交流セッション21

8月30日(日) 08:50-09:50 第6会場(1008)

K-21 地域とつながる遠隔看護を担う看護職育成の取り組み

企画代表者:古都 昌子 (鳥取看護大学)

交流セッション22

8月30日(日) 10:00-11:00 第3A会場(1004)

**K-22 看護学生の日常生活習慣の実態から
—基礎看護教育における患者理解を促す取り組みの検討—**

企画代表者:中西 真由美 (日本赤十字北海道看護大学)

交流セッション23

8月30日(日) 10:00-11:00 第3B会場(1005)

**K-23 看護学生のために医学生が作製した解剖生理学の教育ツールを
ワクワクドキドキしながら体験してみませんか？**

企画代表者:瀧澤 敬美 (日本医科大学分子解剖学)

交流セッション24

8月30日(日) 10:00-11:00 第4会場(1006)

K-24 自らの学びを調整し、協働で高める自己調整学習

企画代表者:徳永 なみじ (愛媛県立医療技術大学)

交流セッション25

8月30日(日) 10:00-11:00 第5会場(1007)

K-25 看護場面の再構成法の教育的活用を考える
—領域横断・学年縦断で考える省察教育—

企画代表者:小川 雅代 (横浜創英大学)

交流セッション26

8月30日(日) 10:00-11:00 第6会場(1008)

K-26 学習者中心と教師中心、何が違うのか

企画代表者:吉田 文子 (佐久大学大学院看護学研究科)

交流セッション27

8月30日(日) 11:10-12:10 第3A会場(1004)

K-27 学びを一句に～「短詩」もて 学び深むる 看護の知～

企画代表者:則竹 翔 (朝日大学保健医療学部看護学科)

交流セッション28

8月30日(日) 11:10-12:10 第3B会場(1005)

K-28 看護の“観察力”を可視化する
—表情解析AIツールを体験し、看護教育への活用を考える—

企画代表者:稲野辺 奈緒子 (東京女子医科大学 看護学部)

交流セッション29

8月30日(日) 11:10-12:10 第4会場(1006)

K-29 看護基礎教育における歴史の継承 —看護の原点を振り返って—

企画代表者:田中 幸子 (東京慈恵会医科大学医学部看護学科)

交流セッション30

8月30日(日) 11:10-12:10 第5会場(1007)

K-30 看護実習場面の教材化
—学生が“看護を経験する瞬間”をどう支えるか—

企画代表者:堀内 晃代 ((前)神奈川県立保健福祉大学実践教育センター)

交流セッション31

8月30日(日) 11:10-12:10 第6会場(1008)

K-31 プロフェッショナルな姿勢を育む基礎看護学の授業デザイン
—実践能力強化を目指したシームレス教育—

企画代表者:渡邊 恵 (神奈川県立保健福祉大学)

交流セッション32

8月30日(日) 13:00-14:00 第3A会場(1004)

K-32 地域在宅看護学教育におけるAIを活用した臨床推論の検討
—演習を中心にした教育デザイン—

企画代表者:王 麗華 (大東文化大学)

交流セッション33

8月30日(日) 13:00-14:00 第3B会場(1005)

**K-33 実習の振り返りをどう支援する？
—リフレクションを構造化するツールの活用—**

企画代表者：飯岡 由紀子 (埼玉県立大学 保健医療福祉学研究所)

交流セッション34

8月30日(日) 13:00-14:00 第4会場(1006)

**K-34 地域の実情にあった新卒訪問看護師の人材確保
および質の向上に向けた工夫と課題共有**

企画代表者：佐藤 富美子 (仙台青葉学院大学看護学部看護学科)

交流セッション35

8月30日(日) 13:00-14:00 第5会場(1007)

**K-35 学生が動く！学びが変わる！
—協同学習で実現する“学生が主役”の技術演習—**

企画代表者：伊勢根 尚美 (杏林大学)

交流セッション36

8月30日(日) 13:50-14:50 第6会場(1008)

**K-36 臨地実習で教員はなぜ困る？！精神・発達障害のある
当事者の「語り」から紐解くこれからの多様な学生支援**

企画代表者：瀬戸山 陽子 (東京医科大学)

交流セッション37

8月30日(日) 14:10-15:10 第3A会場(1004)

**K-37 診療報酬制度が動き出した！健康の社会的決定要因(SDH)と
臨床事例のストーリーから看護教育を考える**

企画代表者：岡本 美代子 (順天堂大学国際教養学部)

交流セッション38

8月30日(日) 14:10-15:10 第3B会場(1005)

**K-38 看護学生がICTを活用した生活を創造する学び
—生活・医療・看護のつながりを考える学び—**

企画代表者：金久保 愛子 (日東京慈恵会医科大学 医学部看護学科)

交流セッション39

8月30日(日) 14:10-15:10 第4会場(1006)

**K-39 受け身から主体的学習へ：
協同学習を導入した基礎看護技術教育の実践**

企画代表者：恒松 佳代子 (久留米大学 医学部看護学科)

交流セッション40

8月30日(日) 14:10-15:10 第5会場(1007)

**K-40 臨地実習における学習環境の質保証
～実習施設と大学の協働に焦点を当てて～**

企画代表者:山住 康恵 (共立女子大学)

交流セッション41

8月30日(日) 15:00-16:00 第6会場(1008)

**K-41 看護基礎教育と卒後教育の繋がりを考える Vol.7
～看護基礎教育と臨床の場で伝承する大切なこと～**

企画代表者:一色 潤子 (埼玉医科大学附属総合医療センター看護専門学校)

交流セッション42

8月30日(日) 15:20-16:20 第3A会場(1004)

K-42 オープンダイアログ研修を受講して

企画代表者:和住 淑子 (千葉大学大学院看護学研究院)

交流セッション43

8月30日(日) 15:20-16:20 第3B会場(1005)

**K-43 主体性と創造性を育む看護学教育～アントレプレナーシップ教育の
実践デザイン:教員と臨床の対話から～**

企画代表者:成瀬 愛子 (浜松医科大学次世代創造医工情報教育センター)

交流セッション44

8月30日(日) 15:20-16:20 第4会場(1006)

K-44 看護教育を支える教育設計～看護×情報の視点から考える～

企画代表者:杉木 佐知子 (大阪医科薬科大学 看護学部)

交流セッション45

8月30日(日) 15:20-16:20 第5会場(1007)

**K-45 看護と学習の視座から捉える「コンセプト学習」:
看護教育改革の挑戦と可能性**

企画代表者:津波古 澄子 (京都看護大学大学院)

一般演題(口演)

○-01 教授方略、教育評価

8月29日(土) 10:00-11:00 第6会場(1008)

座長:宮本 千津子(東京医療保健大学千葉看護学部)

○-01-01 小児看護学における検温シミュレーション演習・
デモンストレーションの効果

○江村 恭子、宮原 智子

広島市立看護専門学校

○-01-02 看護学生のメンタルヘルス支援における
Graphic Medicineの活用

○渋谷 友紀、守村 洋

札幌市立大学看護学部

○-01-03 看護実践レポートのAIを活用したハイブリッド評価
～教育担当者が研修での省察支援に注力するために～

○本村 和也、安藤 菜摘子、鍋谷 佳子

大阪大学医学部附属病院

○-01-04 看護学生における救急看護教育の学修効果に関する文献レビュー

○倉骨 美恵子 秀明大学看護学部

○-01-05 看護学生の母性に対するイメージの変化
～分娩見学の有無による比較～

○栖原 久美子 蕨戸田市医師会看護専門学校

○-01-06 大学院修士課程助産学コースにおける政策提言能力向上教育
プログラムの挑戦

○佐藤 直子¹⁾、石原 美和²⁾

1)西武文理大学看護学部看護学科、2)神奈川県立保健福祉大学保健福祉学研究科

○-02 最優秀演題賞候補(育成部門)

8月29日(土) 10:00-11:00 第7会場(1009)

座長:荒木田 美香子(川崎市立看護大学)

○-02-01 看護師のためのスピリチュアルケアにおける臨床判断モデルの構築

○上原 星奈¹⁾、山下 真裕子²⁾

1)元東京都立大学大学院人間健康科学研究科博士後期課程、2)東京都立大学大学院人間健康科学研究科

○-02-02 看護実習記録のDX化による学生の
負担感・睡眠時間・自己学習調整能力への影響

○臺 美佐子、石川 倫子、佐能 唯、米澤 洋美、紺家 千津子
北村 言、米田 昌代、桜井 志保美、戸部 浩美、千原 裕香

石川県立看護大学 看護学部

○-02-03 ICU看護師のジャクソンリース回路使用に関する知識・技術と
その関連要因の検討

○鈴木 雅弘、山口 貴子

人間環境大学 看護学部

○-02-04 臨床判断の解釈における思考パターンが看護学生の療養環境の
観察に与える影響:視線解析を用いた検討

○石貫 智裕、宇野 智子、中村 円、飯澤 良祐、堀口 雅美

札幌医科大学 保健医療学部 看護学科

○-02-05 実地指導者によるスキャフォールディングの過程

○下塩入 美香¹⁾、細田 泰子²⁾、勝山 愛²⁾

1)大阪公立大学大学院 看護学研究科 博士前期課程、2)大阪公立大学大学院 看護学研究科

○-03 臨地実習1

8月29日(土) 11:10-12:10 第6会場(1008)

座長:簀持 知恵子(近畿大学 看護学部)

○-03-01 臨地実習で看護過程を展開する学生が対象者中心の思考を
獲得するための教員の関わり

○長井 一恵、金子 さゆり、木村 三香、山田 薫子

宮城大学 看護学群

○-03-02 学生の技術経験における到達度の向上を目指した実習指導の検討

○鈴木 麻里衣、伊藤 僚子 豊橋市立看護専門学校

○-03-03 臨地実習において看護学生が実習指導者に
援助要請を行うプロセス

○細川 智奈 信州大学医学部附属病院

○-03-04 臨地実習で新任期の教員が学生に「一方的な関わりとなった」場面とその要因—3・4年目教員の語りから—

○三村 彩貴^{1,2)}、野崎 真奈美³⁾、鈴木 小百合³⁾

1) 東京医療保健大学千葉看護学部看護学科、2) 順天堂大学大学院医療看護学研究科博士前期課程

3) 順天堂大学大学院医療看護学研究科

○-03-05 看護専門学校生の基礎看護学実習前における精神的な切迫とその関連要因

○内藤 英子¹⁾、吉田 文子²⁾、細谷 たき子²⁾

1) JA長野厚生連佐久総合病院看護専門学校、2) 佐久大学大学院看護学研究科

○-03-06 領域別看護学実習記録のDX化による臨地実習指導への影響の検証

○北村 言、石川 倫子、佐能 唯、米澤 洋美、紺家 千津子、臺 美佐子
米田 昌代、桜井 志保美、戸部 浩美、千原 裕香

石川県立看護大学

○-04 最優秀演題賞候補(発展部門)

8月29日(土) 11:10-12:10 第7会場(1009)

座長: 安酸 史子 (日本赤十字北海道看護大学)

○-04-01 3年課程看護専門学校生における在学中の退学意向に関連する要因—SOCとレジリエンスに焦点を当てて—

○村岡 由美子¹⁾、松本 千晴²⁾

1) 熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科博士前期課程、2) 熊本県立大学総合管理学部

○-04-02 術後患者の臨床判断に関連づけた多視点3D解剖教育システムの学習効果の検討

○織田 千賀子、桂川 清多、近藤 彰、中村 小百合

藤田医科大学 保健衛生学部 看護学科

○-04-03 演題取り下げ

○-04-04 ICU新人教育における協働型ペア学習導入による変化—Win-Winナーシングの実践—

○浅野 まどか 一般財団法人厚生会 仙台厚生病院 看護部

○-04-05 臨地の看護職から看護系大学教員へのキャリア・トランジションの様相: 新任期にある助教・講師を焦点に

○田原 ゆう子、本田 多美枝

日本赤十字九州国際看護大学

O-05 臨地実習2

8月30日(日) 08:50-09:50 第7会場(1009)

座長:村中 陽子(別府大学看護学部)

O-05-01 看護学生の臨床判断能力の育成に向けた実習指導に対する実習指導者と教員の考え方の実態と課題

○宮原 智子、江村 恭子、木村 光子

広島市立看護専門学校

O-05-02 終末期看護実習による看護学生の死生観と終末期ケア態度の変容

○島村 美香、別城 佐和子、大水 あずさ、大園 久美子、久保田 多見子

宮本 毅治、梅木 彰子

令和健康科学大学看護学部看護学科

O-05-03 地域・在宅看護論実習でのシミュレーション体験の学びの活用

○本松 美和子 別府大学 看護学部

O-05-04 基礎看護学実習でのDX化による学生の学習への影響

○石川 倫子、佐能 唯、米澤 洋美、臺 美佐子、北村 言、紺家 千津子

米田 昌代、桜井 志保美、戸部 浩美、千原 裕香

石川県立看護大学

O-05-05 基礎看護学実習において教員が認識するHidden Curriculum

○久保田 貴博 聖路加国際大学大学院 看護学研究科

O-05-06 初めて患者を受け持つ基礎看護学実習における看護教員の指導上の困難な場面での状況と看護学生への関わり

○佐藤 早苗、永井 睦子

岩手保健医療大学 看護学部

O-06 看護技術教育、臨地実習3、その他

8月30日(日) 10:00-11:00 第7会場(1009)

座長:林 静子(富山県立大学看護学部基礎看護学講座2)

O-06-01 臨地実習における看護学生の気づきの場面と省察—判断(診断的・治療的・倫理的)場面の実態調査—

○田村 篤枝、倉林 ちずる、富塚 綾子、江面 優美

独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災看護専門学校

O-06-02 地域とともに学生を育てていく教育環境の構築—アクティブ・ラーニングを取り入れた臨地実習の実践—

○阿部 志真¹⁾、安藤 千保²⁾、佐藤 香¹⁾、山之内 梨絵¹⁾

渡辺 菜実子¹⁾、数藤 幸恵¹⁾

1)新潟県立十日町看護専門学校、2)新潟県立新発田病院附属看護専門学校

○-06-03 学内演習における看護大学生が直面する教員に対する 援助要請の抑制要因

○五十嵐 貴大¹⁾、荒木田 美香子²⁾、佐藤 みつ子¹⁾

1) SBC東京医療大学 健康科学部 看護学科、2) 川崎市立看護大学 看護学部 看護学科

○-06-04 清拭用タオルの種類による有効性と選択に関する検討

○高島 由起子、桐生 由美子、小林 洋子、及川 洋、上田 洋子

群馬医療福祉大学 看護学部

○-06-05 地域ボランティア活動に参加した看護学生の体験とその認識

○泉澤 真紀、片川 俊太郎

旭川市立大学 保健福祉学部保健看護学科

○-06-06 看護系学生のHPVワクチン接種行動と 健康教育実施意向に関する研究

○松尾 泉¹⁾、福岡 裕美子¹⁾、齊藤 史恵²⁾、平川 美和子³⁾

1) 弘前医療福祉大学保健学部看護学科、2) 弘前学院大学看護学部看護学科

3) 帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科

○-07 新人教育

8月30日(日) 11:10-12:10 第7会場(1009)

座長: 任 和子 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

○-07-01 新卒看護師の終末期看護における向き合い方の変化

○川崎 充¹⁾、坂 美奈子²⁾、吉村 恵美子²⁾

1) 日本赤十字社医療センター、2) 国際医療福祉大学

○-07-02 訪問看護ステーションにおける新卒看護師採用と育成の現状

○首藤 八千子 別府大学看護学部

○-07-03 先輩看護師が新人看護師指導上直面する問題 —指導に難渋する先輩看護師自身の問題の理解を目指して—

○本庄 栄利子¹⁾、山下 暢子²⁾、松田 安弘³⁾、金谷 悦子²⁾

高橋 裕子²⁾、服部 美香²⁾

1) 群馬県立県民健康科学大学、2) 群馬県立県民健康科学大学 看護学部、3) 京都九条病院

○-07-04 看護職のバーンアウトの感染的広がりの可能性: プリセプターと プリセプティの関連性から

○大植 崇¹⁾、大植 由佳²⁾

1) 岡山大学学術研究院保健学域、2) 兵庫大学看護学部看護学科

O-07-05 ICU新人期看護師の臨床判断スキルの形成に資する学び方とその獲得に関わる経験

○田村 亜夕子¹⁾、奥野 信行²⁾

1) 京都第一赤十字看護専門学校、2) 京都橘大学 看護学部

O-07-06 中高生と看護学生の交流による早期キャリア教育「みやぎプレナーススクール」の活動報告と評価

○山田 薫子、花里 陽子、後藤 篤、金子 健太郎

宮城大学看護学群

O-08 継続教育

8月30日(日) 13:50-14:50 第7会場(1009)

座長: 撫養 真紀子 (兵庫県立大学看護学部 看護基礎講座)

O-08-01 リフレクション研修における内省過程と実践到達の関連(第2報: 研修時の内省評価と実践到達の関連分析)

○増田 遥 虎の門病院

O-08-02 救命救急センターに異動した看護師が初療室における臨床判断の成長を実感した体験

○野田 美帆¹⁾、本田 多美枝²⁾

1) 熊本赤十字病院、2) 日本赤十字九州国際看護大学

O-08-03 新人看護職員研修における実地指導者の教育的ケアリングの様相

○土岡 香¹⁾、細田 泰子²⁾、勝山 愛²⁾

1) 大阪公立大学大学院看護学研究科 博士前期課程、2) 大阪公立大学大学院看護学研究科

O-08-04 PNSにおける若手看護師のクリティカルシンキングとPNS運用の実態

○岸岡 美希、宮芝 智子、加藤木 真史

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科

O-08-05 精神科病院におけるクリニカルラダー導入の認識と教育研修体系の現状

○小野 悟¹⁾、臼田 成之²⁾

1) 中部学院大学看護リハビリテーション学部、2) 岐阜協立大学看護学部

O-08-06 日本で就労しながら大学院に進学した中国人看護師の経験についての解釈的現象学的分析

○森 つばさ 京都九条病院

**O-09-01 A大学看護学科における臨床実践中心型カリキュラムの
設計原理とコンピテンシー獲得との関連**

○増山 純二、苑田 裕樹、児玉 裕美、辻 慶子

令和健康科学大学 看護学部

**O-09-02 看護学部における学生参加型カリキュラム評価
—卒業時カリキュラム・コンサルティングの実践報告—**

○管原 清子、加納 江理、藤田 景子、小池 潤、伊藤 純子、太田 尚子

静岡県立大学看護学部

**O-09-03 キャリア後期看護師の看護専門学校教員への役割移行プロセス
—ゆらぎを契機に教員役割へ挑み続ける経験—**

○堀内 晃代¹⁾、吉村 恵美子²⁾

1) (前) 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター、2) 国際医療福祉大学大学院

O-09-04 看護系大学に勤務する協働しやすい教員の特徴

○滝沢 隆¹⁾、五十嵐 貴大²⁾

1) 大東文化大学 スポーツ・健康科学部、2) SBC東京医療大学 健康科学部

O-09-05 看護専門学校教員の専任教員養成講習会における学習経験

○加藤 あずさ¹⁾、定廣 和香子²⁾、山本 美紀²⁾

1) 北見医師会看護専門学校、2) 日本赤十字北海道看護大学

O-09-06 3年課程看護師養成所に勤務する熟達教員の授業力量

○三田村 富弥¹⁾、新美 綾子²⁾、小笠原 ゆかり²⁾

1) 愛知県立総合看護専門学校、2) 日本福祉大学看護学部看護学研究科

一般演題(示説)

P-01 学生理解1

8月29日(土) 10:00-10:30 ポスター会場(1001-1003)

**P-01-01 地域貢献活動を通じた看護学生の学び
—病気の子どもと家族のサポートグループ「つぼみ」の活動報告—**

○越雲 美奈子¹⁾、金子 昌子²⁾

1) 獨協医科大学 看護学部、2) 獨協医科大学 看護学研究科

**P-01-02 母性看護学実習における男子学生の父親に対する
保健指導を通じた家族支援の学習プロセス**

○太田 裕子 一般社団法人 所沢看護専門学校

P-01-03 学生アンケートから見えた接遇に関する学習ニーズ

○紺野 美香 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター附属仙台看護助産学校

P-01-04 熟達看護教員が捉える看護学実習における学生の主体的学習行動

○中澤 洋子^{1,2)}、檜山 明子³⁾、樋之津 淳子³⁾

1) 日本医療大学保健医療学部看護学科、2) 札幌市立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程
3) 札幌市立大学大学院看護学研究科

P-01-05 乳がん自己検診啓発活動を通じた看護学生の学びの特徴

○島原 ほのか、宮良 淳子、古田 雅俊

中京学院大学 看護学部

P-01-06 演題取り下げ

P-01-07 発達障害特性を有する看護学生の合理的配慮に関する文献的検討

○前原 宏美、米元 富貴代

鹿児島純心大学看護栄養学部看護学科

P-01-08 学内演習において模擬患者を経験した上級生の看護観の変化

○山田 忍¹⁾、山中 政子²⁾、東 真理²⁾、福田 正道²⁾、上野 妙子²⁾

佐野 真樹子²⁾、加藤 久代²⁾、

1) 大阪医療大学 医療看護学部 看護学科、2) 天理大学 医療学部 看護学科

P-01-09 大学生の過剰適応の傾向と援助要請行動および主体価値との関連

○山本 陽子¹⁾、中原 由貴²⁾、奥田 玲子³⁾、南前 直都¹⁾

宮本 まゆみ¹⁾、深田 美香¹⁾

1) 鳥取大学医学部保健学科 基礎看護学講座、2) 鳥取大学医学部附属病院 看護部
3) 県立広島大学保健福祉学部 保健福祉学科看護学コース

**P-01-10 看護学生1～4年次生における学修の特徴と学年間差異
—修学実態調査の二次分析—**

○片田 千尋¹⁾、荻野 待子²⁾、三谷 理恵²⁾

1) 園田学園大学 人間健康学部 人間看護学科、2) 兵庫医科大学 看護学部

**P-01-11 大阪府下の看護師養成課程における社会人看護学生の実態と
子育て中の看護学生への配慮の実態**

○秀島 真衣子、竹中 泉

大阪信愛学院大学 看護学部

P-01-12 男子看護学生の教育環境でのネガティブな思いに対する文献検討

○齊藤 美鈴¹⁾、高橋 衣²⁾

1) 日本大学医学部附属看護専門学校、2) 東京慈恵会医科大学大学院医学研究科看護学専攻母子健康看護学分野

P-02 学生理解2、教授方略1

8月29日(土) 10:30-11:00 ポスター会場(1001-1003)

P-02-01 看護学生の大人としての認識 —ミニレポートの分析から—

○堤 かおり、田辺 幸子

宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科

**P-02-02 社会人経験を有する看護学生のギャップに関する国内文献検討
—「場面×内容×焦点」による記述傾向—**

○西坂 真理子^{1、2)}、澁木 琢磨¹⁾

1) 星槎大学大学院 教育学研究科、2) 川崎市立看護大学 看護学部

P-02-03 看護学生のお他学科との比較によるグループワーク適応に関する研究

○永峯 卓哉 長崎県立大学 看護栄養学部看護学科

**P-02-04 簡易脳波計HAL-2 による学習状態の思考分析
～配付資料中心の授業と教科書を中心とした授業の比較**

○馬場 才悟、高野 佳範、橋本 陽子

西九州大学看護学部

P-02-05 看護学生が抱く学修上の困難感

○服部 律子¹⁾、高田 正子²⁾、西北 義枝²⁾、安在 雅子³⁾、比志島 久美³⁾
野村 唯³⁾、高橋 寿奈¹⁾、浅野 千晶¹⁾

1) 奈良学園大学、2) 南奈良看護専門学校、3) 奈良看護大学校

**P-02-06 看護基礎教育における「持続可能な開発のための教育」の実装に
関する研究動向—海外文献レビューから—**

○尾崎 優子 神戸常盤大学 保健科学部 看護学科

P-02-07 看護基礎教育における人体の構造と機能の教育手法に関する研究の動向

○島田 信、政時 和美

下関市立大学看護学部

**P-02-08 キングの目標達成理論に基づく実証研究の特徴と動向
:スコーピングレビュー**

○大水 あずさ^{1,3)}、角濱 春美²⁾

1) 令和健康科学大学看護学部、2) 青森県立保健大学健康科学部・健康科学研究科
3) 青森県立保健大学大学院健康科学研究科博士後期課程

P-02-09 看護演習におけるPeer-Led Trainingによる学習効果に関する文献検討

○平山 久枝¹⁾、松居 典子²⁾、宮本 雅子³⁾

1) 関西医科大学、2) 京都先端科学大学、3) 奈良学園大学

**P-02-10 看護学教師の看護学実習における病態教授活動の実践例
～EPTA-NCP因子別のインタビュー調査～**

○本谷 久美子¹⁾、荒木田 美香子²⁾

1) 埼玉医科大学保健医療学部、2) 川崎市立看護大学看護学部

P-02-11 認識論Ⅱ〔リフレクション〕におけるリフレクションシート活用の研究

○平塚 厚子¹⁾、朝倉 由美²⁾、野口 昌美³⁾、細田 恵奈む⁴⁾、河野 美貴⁵⁾

1) 深谷大里看護専門学校、2) 戸田中央看護専門学校、3) 春日部市立看護専門学校
4) 朝霞地区看護専門学校、5) さいたま市立高等看護学院

P-02-12 小児看護OSCEにおけるAI対話型学習の活用に関する文献検討

○菊原 美緒¹⁾、合田 友美²⁾

1) 令和健康科学大学看護学部、2) 千里金蘭大学看護学部

P-03 最優秀演題賞候補(育成部門)

8月29日(土) 11:00-11:30 ポスター会場(1001-1003)

座長: 赤澤 千春 (滋賀県立大学大学院人間看護学研究科)

**P-03-01 ID第一原理を活用した授業の学習効果
—ARCS動機づけモデルによる評価—**

○長野 由希 佐賀県医療センター好生館看護学院

**P-03-02 アクティブラーニングを用いた成人慢性期看護過程演習の
実践と学習効果**

○福重 真美¹⁾、柊中 智恵子¹⁾、國府 浩子¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部

**P-03-03 新人看護師に対する実地指導者の
アサーティブ・コミュニケーションを困難にする状況**

○岸本 侑香、合田 友美

千里金蘭大学大学院 看護学研究科

**P-03-04 キャリア構築理論に基づく教育介入が中堅看護師の
キャリア・アダプタビリティに及ぼす影響:混合研究**

○田川 史穂里^{1,2)}、亀野 淳³⁾

1) 北海道大学大学院教育学院博士後期課程、2) 日本医療大学保健医療学部看護学科

3) 北海道大学高等教育推進機構

P-03-05 演題取り下げ

P-04 最優秀演題賞候補(発展部門) 8月29日(土) 11:30-12:00 ポスター会場(1001-1003)

座長: 藤野 ユリ子 (福岡女学院看護大学看護学部)

**P-04-01 看護学生の社会人基礎力向上プログラム開発に関する基礎調査
—看護基礎教育と地域とのユニフィケーション—**

○奥平 寛奈、佐藤 純也、村松 由紀

大東文化大学 スポーツ・健康科学部看護学科

**P-04-02 看護基礎教育段階の政策関連科目において
学生の主体的学習を促す授業展開方法**

○石橋 みゆき¹⁾、村田 由香²⁾、宗内 桂²⁾、篠原 謙太²⁾、野村 悠美子²⁾
田中 幸子³⁾、小山田 恭子⁴⁾、池田 真理⁵⁾、加藤 典子⁶⁾、野村 陽子⁷⁾

1) 千葉大学大学院看護学研究院、2) 日本赤十字広島看護大学、3) 東京慈恵会医科大学 医学部看護学科

4) 聖路加国際大学、5) 東京大学大学院、6) 独協医科大学、7) 新見公立大学

**P-04-03 看護初学者における健康の社会的決定要因の認識形成プロセス
—多様な社会活動の場での実習体験を通して—**

○角野 雅春、津崎 勝代

社会医療法人生長会 専門学校 ベルランド看護福祉大学校

**P-04-04 インストラクショナルデザインにCBL (Case Based Learning) を
導入することの効果**

○小山 悠斗 東京都立多摩南部地域病院

**P-04-05 新任訪問看護師を対象とした
ハイブリット型シミュレーション基盤型教育の有用性**

○織井 優貴子 常磐大学大学院看護学研究科

**P-05-01 看護基礎教育課程においてシミュレーション教育に参画する
模擬患者がとらえた課題**

○中本 明世、池田 七衣

甲南女子大学 看護リハビリテーション学部

**P-05-02 日本の看護教育における自己調整学習研究の動向
ー 使用尺度および測定内容の観点からの文献レビュー ー**

○那須 さとみ 宝塚医療大学和歌山保健医療学部

**P-05-03 成人看護学実習直前に導入したVR体験シミュレーション演習による
学生の不安の変化**

○井上 弘子、川村 友紀、水津 望

新見公立大学

**P-05-04 eラーニングによるソーシャル・スキルに焦点を当てた
報告行動に関する教材の効果と課題**

○松江 なるえ 東京家政大学健康科学部看護学科

**P-05-05 看護の対象を「生活者」と捉えるための教育に関する文献検討
ー 看護学生の学びからー**

○徳山 恵美¹⁾、高橋 衣²⁾

1) 広島県立三次看護専門学校、2) 東京慈恵会医科大学大学院医学研究科看護学専攻母子健康看護学

**P-05-06 看護師基礎教育の看護師国家試験対策における教育的支援に
関する文献レビュー**

○徳永 有香¹⁾、長 聡子²⁾、吉川 由香里²⁾

1) 福岡女学院看護大学大学院修士課程、2) 福岡女学院看護大学

**P-05-07 看護シミュレーション教育における模擬患者との協働に対する
ファシリテーターの認識**

○池田 七衣、中本 明世

甲南女子大学看護リハビリテーション学部看護学科

**P-05-08 わが国の看護大学の学生教育に関するユニフィケーションの
現状と課題:スコーピングレビュー**

○飯塚 麻紀、長嶋 祐子、小林 優子

駒沢女子大学

P-05-09 看護学生における電子教科書活用と自己調整学習方略の関連

○藤野 ユリ子、吉川 由香里、野崎 澄佳、阿部 清美

福岡女学院看護大学

**P-05-10 インパクトを与える成人看護学演習の学び
— クリティカルケア演習後レポートのテキストマイニング分析—**

○田辺 幸子、堤 かおり

宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 看護学科

**P-05-11 看護基礎教育におけるピア評価の有効性の検討
— 学生および教員の認識—**

○中澤 敏治、柴山 真由美

岐阜県立衛生専門学校 第二看護学科

**P-05-12 新人看護師の看護技術の到達度の自己評価と
プリセプター評価の差異**

○大園 久美子¹⁾、花田 妙子²⁾

1) 令和健康科学大学看護学部、2) 令和健康科学大学大学院看護学分野

P-06 教育評価2、臨地実習1

8月29日(土) 15:00-15:30 ポスター会場(1001-1003)

**P-06-01 多重課題対応に関するアクティブラーニング
およびOSCEの実施を通じた看護学部4年生の学び**

○前田 隆子、飯倉 充美、軽部 由有子、齋藤 佑見子

刈谷 奈緒子、日向野 香織

医療創生大学 国際看護学部

**P-06-02 ルーブリック評価支援システム開発に向けた基礎看護学実習の
実態調査**

○吉田 理恵¹⁾、定廣 和香子¹⁾、大淵 一博²⁾

1) 日本赤十字北海道看護大学、2) 札幌市立大学

**P-06-03 看護大学4年生を対象とした改良型シミュレーション演習
プログラムの学習効果**

○鈴木 小百合¹⁾、瀬尾 昌枝¹⁾、田中 朋子¹⁾、吉田 めぐみ¹⁾

野崎 真奈美²⁾、高島 えり子²⁾

1) 順天堂大学医療看護学部、2) 順天堂大学大学院医療看護学研究科

**P-06-04 看護学生の終末期ケア教育における事例演習の効果
— 医療機関における終末期ケア事例を用いた学び—**

○原村 幸代、勝野 絵梨奈

宮崎県立看護大学

**P-06-05 小児看護学領域の統合実習におけるオンライン学会参加の
学習体験:学生へのインタビューから**

○西田 志穂¹⁾、西村 実希子²⁾

1) 共立女子大学 看護学部、2) 帝京科学大学 医療科学部 看護学科

**P-06-06 成人看護学における看護過程演習の学習効果の検討
— 実習後の自己評価より —**

○寒川 友起子、池田 敬子、山口 昌子、上田 伊津代、川井 美緒
阿部 雅、辻 あさみ

和歌山県立医科大学保健看護学部

**P-06-07 A大学における在宅看護学におけるシミュレーション演習の
デザインと文脈理解の影響指標の関連**

○喜志多 玲、間山 一枝、増山 純二、児玉 裕美、馬場 みちえ

令和健康科学大学

**P-06-08 看護教育におけるシラバス分析の方法論的検討
— 文献レビューに基づく分析視点の整理 —**

○松浦 麻子、菅谷 綾子

東邦大学健康科学部看護学科

P-06-09 重症心身障害児者施設の実習指導者が感じる困難感

○飯伏 紀江 東京都立北療育医療センター

**P-06-10 臨地実習指導者の教育実践能力に焦点をあてた
自己評価表の有用性の検証**

○森 裕介¹⁾、伊藤 千晴²⁾

1) 日本福祉大学 看護学部、2) 人間環境大学 看護学部

**P-06-11 初回臨地実習の実習前後における学生の学びの特徴
— テキストマイニングを用いたレポート分析 —**

○米元 富貴代¹⁾、小楠 範子¹⁾、信太 圭一²⁾、小牧 祥太郎³⁾、脇園 幸恵¹⁾

1) 鹿児島純心大学 看護栄養学部看護学科、2) 帝京大学福岡医療技術学部 診療放射線技師学科

3) 鹿児島医療技術専門学校 言語聴覚療法学科

P-06-12 文献レビューによる精神看護学実習における学生の学びの構造

○坂口 泰子¹⁾、臼田 成之²⁾

1) 岐阜大学 医学部看護学科、2) 岐阜協立大学 看護学部

P-06-13 地元創成看護学実習における学生との交流が実習ボランティアに与える影響－質問紙調査より－

○角田 響介、岩本 里織、澁谷 幸、坪井 桂子、丸尾 智実
関口 瑛里、秋定 真有、森山 美香、畑中 あかね、内山 孝子
神戸市看護大学

P-07 臨地実習2

8月29日(土) 15:30-16:00 ポスター会場(1001-1003)

**P-07-01 地元創成看護学実習がもたらす住民・地域への影響
－インタビュー調査より－**

○森山 美香、澁谷 幸、内山 孝子、畑中 あかね、岩本 里織
秋定 真有、丸尾 智実、坪井 桂子、角田 響介、関口 瑛里
神戸市看護大学

**P-07-02 看護教員がもつ臨地実習指導についてのメンタルモデル
－X・Y・Z世代の比較－**

○澁谷 幸¹⁾、中岡 亜希子²⁾、内藤 知佐子³⁾、内山 孝子¹⁾
船木 淳⁴⁾、前川 幸子⁵⁾

1) 神戸市看護大学、2) 神戸女子大学看護学部、3) 愛媛大学医学部附属病院
4) 名古屋市立大学大学院看護学研究科、5) 甲南女子大学看護リハビリテーション学部

**P-07-03 小児看護学実習において患児の受け持ちを承諾した
経験がある母親の看護学生への要望**

○中家 かおり、坂本 由希子、水田 真由美、岩根 直美
和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科

**P-07-04 クリティカルケア看護学実習における日常性回復と
社会生活適応への支援に関する学生の学び**

○池上 理子、嵐田 理佳
京都先端科学大学 健康医療学部 看護学科

**P-07-05 高齢者施設実習における看護大学生の学び
～実習最終レポートの分析から～**

○切明 美保子、溝江 弓恵、小出 るみ子
八戸学院大学 看護学部

**P-07-06 新生児・小児ICUを活用した小児看護学実習における実習指導者の
役割遂行の様相**

○辻 朋子、岡 澄子
北里大学 看護学部

P-07-07 教育背景からみた新人看護師が経験した統合実習の内容と学びの特徴

○林 愛乃¹⁾、石田 瑠美¹⁾、江尻 晴美²⁾、東野 督子³⁾、道重 文子⁴⁾

1) 敦賀市立看護大学、2) 中部大学 生命健康科学部

3) 一宮研伸大学 看護学研究科、4) 大阪医科薬科大学名誉教授

P-07-08 コロナ禍の変則的半日型老年看護学実習Ⅱにおける看護学生の学びを支えた実習指導者のアプローチ

○杉原 真裕子、岩瀬 和恵

川崎市立看護大学 看護学部

P-07-09 看護学実習において教員が指導を行った場面の契機と指導の意図

○大江 勤子¹⁾、泊 祐子²⁾

1) 東京医療保健大学和歌山看護学部、2) 大阪医科薬科大学

P-07-10 シミュレーション教育を取り入れた自律学習を支援する「訪問看護実習支援プログラム」の評価

○宇多 みどり 神戸常盤大学看護学部・保健科学部看護学科

P-07-11 看護学臨地実習指導者が抱える指導上の困難に関する文献検討

○中野 珠枝¹⁾、佐々木 浩子²⁾

1) 宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 看護学科、2) 公益社団法人 和歌山県看護協会

P-07-12 実習指導者がもつ臨地実習指導についてのメンタルモデル—X・Y・Z世代の比較—

○中岡 亜希子¹⁾、澁谷 幸²⁾、内山 孝子²⁾、船木 淳³⁾

内藤 知佐子⁴⁾、前川 幸子⁵⁾

1) 神戸女子大学、2) 神戸市看護大学、3) 名古屋市立大学、4) 愛媛大学、5) 甲南女子大学

P-07-13 看護学生のアタッチメントスタイルに応じた実習指導マニュアルの構築—特性別の具体的ななかかわり—

○財津 倫子、高橋 甲枝、坂本 未穂、梅本 紗佑里

西南女学院大学

P-08-01 基礎実習 I での留学生と教員の気づきと困難感の抽出

○岡本 陽子、田淵 香織、篠塚 美穂、鈴木 美貴子

千葉科学大学

P-08-02 「この学生を臨床現場に出してよいのか」発達障害特性を疑う看護学生の実習指導における教員の葛藤

○吉田 恵理子¹⁾、永峯 卓哉¹⁾、瀬戸山 陽子²⁾

1)長崎県立大学看護栄養学部看護学科、2)東京医科大学・教育IRセンター

P-08-03 無痛分娩の普及がもたらす母性看護学実習の変容—文献検討による教育的示唆—

○松居 典子¹⁾、平山 久枝²⁾、宮本 雅子³⁾

1)京都先端科学大学、2)関西医科大学、3)奈良学園大学

P-08-04 臨地実習における患者との関わりの中で生じる看護学生の気づきの概念分析

○内田 佳代¹⁾、菊地 麻由美²⁾、永田 明³⁾

1)東邦大学大学院看護学研究科博士後期課程、2)東邦大学看護学部、3)愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻

P-08-05 シャドウイング実習に携わる看護師が直面する困難

○大野 祐子¹⁾、野本 百合子²⁾、岡田 ルリ子³⁾、徳永 なみじ¹⁾

1)愛媛県立医療技術大学 保健科学部、2)徳島文理大学 保健福祉学部、3)聖カタリナ大学 看護学部

P-08-06 精神看護学実習における「生活者」としての対象の捉え方

○山下 貴子 広尾看護専門学校

P-08-07 看護技術を一連の「流れ」として学ぶ演習構成の見直し—1年生の排泄援助技術の習得に向けた取り組み—

○加藤 美月 学校法人おもと会沖縄看護専門学校

P-08-08 明治期から現代までの看護学教科書にみる「無菌操作」の教育の変遷—方法と目的を中心に—

○加治 美幸¹⁾、渡邊 恵²⁾

1)杏林大学 保健学部 看護学科、2)神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科

P-08-09 成人看護技術演習における学生の寝衣交換の技術習得度

○杉本 真弓¹⁾、秋山 千恵子¹⁾、久保 かほる¹⁾、浅見 多紀子¹⁾

鈴木 夕岐子¹⁾、小野 真央¹⁾、田中 顕治²⁾

1)埼玉医科大学短期大学看護学科、2)埼玉医科大学病院

P-08-10 基礎看護技術の自己練習および協同学習に関する文献研究

○古都 昌子、高田 郁美、田中 美菜江、矢田 丞、佐々木 晶子

鳥取看護大学看護学部

P-08-11 A短期大学部における口腔ケアの知識と臨地実習における経験状況からの技術教育評価

○永谷 晃子¹⁾、飯塚 雅子²⁾、横正 奈緒美³⁾、佐藤 光栄^{4,2)}

1)名古屋英大学健康科学部看護学科、2)神奈川歯科大学短期大学部

3)横須賀市立看護専門学校、4)ぐんま未来大学

P-09 看護教育技術2、カリキュラム

8月30日(日) 10:30-11:00 ポスター会場(1001-1003)

P-09-01 我が国の在宅医療での看護師のエコー診断装置の利用状況と看護師のエコー教育に関する文献検討

○津田 泰宏 大阪医科薬科大学 看護学部

P-09-02 老年看護学における事例連動型タッチング演習の教育デザイン—コア・カリキュラムとの整合性の検討—

○神谷 千鶴、蔭山 恵美

関西看護医療大学 看護学部 看護学科

P-09-03 実習直前に視聴する実写VR教材の学習効果の検討—食事と服薬援助場面を通して—

○河野 杏奈^{1,2)}、田邊 祐子^{1,3)}、河合 桃代¹⁾、中山 富子¹⁾

1)帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科、2)聖路加国際大学大学院看護学研究科博士課程

3)帝京平成大学大学院看護学研究科博士課程

P-09-04 症状メカニズム科目の授業改善の取り組み—基礎看護学実習に向けた患者との対話力の育成—

○村田 優子、中島 正世

京都先端科学大学健康医療学部看護学科

P-09-05 看護基礎教育における看護学生のノンテクニカルスキル教育の現状と課題についての文献検討

○間明田 路子、吉岡 詠美

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部看護学科

P-09-06 看護系大学で使用されている看護技術のテキストにみる「爪切り」の記述

○服部 美穂¹⁾、堀田 清司²⁾

1)人間環境大学看護学部、2)中部大学生命健康科学部保健看護学科

**P-09-07 新人看護師が生活援助技術で経験する困難感
—スコーピングレビューによる文献検討—**

○波多野 真弓、東口 晴菜、原 明子、阿部 真純

埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科

**P-09-08 小児看護学技術演習におけるStudent Assistant経験に伴う
学びの特徴**

○三宅 香織、難波 奈保子、糸井 志津乃、井口 早希

目白大学 看護学部

**P-09-09 高齢者および家族のエンドオブライフケアニーズに関する文献検討
—老年看護基礎教育への示唆—**

○東條 紀子 新潟県立看護大学

**P-09-10 コンセプトに基づくカリキュラムとコンセプト学習のアウトカム
:ナラティブレビュー**

○西田 好江 京都看護大学大学院 看護学研究科 博士後期課程

P-09-11 看護学における哲学教育に関するスコーピングレビュー

○濱田 真由美 東京慈恵会医科大学医学部看護学科

P-10 新人教育、継続教育1

8月30日(日) 11:00-11:30 ポスター会場(1001-1003)

**P-10-01 Z世代の新人看護師における職場適応を支える
プロアクティブ行動の関連要因**

野口 美穂¹⁾、川北 敬美²⁾、池西 悦子²⁾

1)大阪成蹊大学看護学部、2)大阪医科大学大学院看護学研究科

P-10-02 MBTIを活用したプリセプター制度の試み

○芳賀 路恵 イムス富士見総合病院 看護部

**P-10-03 新人看護師の心電図判読能力に関する教育ニーズの解明
—3D学習教材の機能拡張に向けて—**

○種本 純一¹⁾、彌富 祐樹¹⁾、定廣 和香子¹⁾、下水流 裕斗²⁾、三谷 篤³⁾

1)日本赤十字北海道看護大学 看護学部、2)北里大学病院 看護部、3)札幌市立大学 デザイン学部

**P-10-04 中規模病院の新人看護職員研修における教育担当者と
看護師長の連携:教育担当者の働きかけに焦点を当てて**

○江崎 亜紗子^{1,2)}

1)日本赤十字看護大学 大学院看護学研究科 看護教育学領域、2)東京都保健医療局 東京都立看護専門学校

P-10-05 新卒看護師指導を経験する実地指導者の成長に関する文献レビュー

○穴戸 裕子 埼玉医科大学保健医療学部看護学科

P-10-06 クリニカルパス使用頻度別にみた若手看護師の臨床判断能力と個人的・組織的要因との関連

○大崎 香織¹⁾、恩幣 宏美²⁾

1) 群馬大学医学部附属病院、2) 群馬大学大学院保健学研究科

P-10-07 看護師への薬理学教育における小児領域の教育内容の特徴：国内文献を対象としたスコーピングレビュー

○金山 俊介¹⁾、松田 明子²⁾

1) 鳥取大学医学部保健学科、2) 奈良県立医科大学医学部看護学科

P-10-08 看護師国際サミット参加者における国際看護の学習経験と実践経験の実態：2025

○河嶋 夏来、水谷 仁哉、八木 里緒、佐藤 太一郎

一般社団法人NurseTerminal アカデミック部門

P-10-09 中堅看護師のサーバントリーダーシップに関する質的研究

○春藤 友香^{1,2)}、細田 泰子²⁾

1) 金城学院大学看護学部看護学科、2) 大阪公立大学大学院看護学研究科

P-10-10 精神科長期入院患者に対するリカバリー志向の看護に関する現任教育のあり方

○葛谷 玲子 岐阜県立看護大学

P-11 継続教育2、キャリア開発1

8月30日(日) 11:30-12:00 ポスター会場(1001-1003)

P-11-01 キャリア初期看護師のリフレクション能力成長実感と看護実践の変化

○奥田 玲子¹⁾、深田 美香²⁾

1) 県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科、2) 鳥取大学医学部保健学科

P-11-02 妊産褥婦を対象とした災害時の準備状況

○岩谷 久美子 福井県立大学 看護福祉学部

P-11-03 意思決定支援に関わる看護師の能力向上を目指すプログラムの質的評価 ―A病院参加者の意識の変化―

○長尾 匡子 大阪信愛学院大学看護学部

**P-11-04 地域密着型病院における教育委員の困難感の可視化と
エンドコアモデルを用いた分析**

○久宗 真理¹⁾、山岸 智子²⁾

1) 啓仁会 所沢ロイヤル病院看護部、2) 防衛医科大学校医学教育部看護学科

**P-11-05 復職を目指して復職支援研修を受講した潜在看護師間に生じる
ピア・エンパワメントの構造**

○上山 千恵子¹⁾、辻田 幸子²⁾、横井 弘美²⁾、松本 理美²⁾、瀬戸 奈津子¹⁾

1) 関西医科大学 看護学部・看護学研究科、2) 関西医科大学 看護キャリア開発センター

**P-11-06 訪問看護ステーション管理者がプラチナナースを
雇用する際に考える処遇**

○石綿 啓子 新潟薬科大学看護学部

P-11-07 社会人経験者が看護師学校養成所への進路選択過程で抱く困難

○上杉 佑也、前田 貴彦

三重県立看護大学

**P-11-08 開設20周年を迎えたA看護系大学卒業生のキャリア形成に
関する動向調査**

○岩野 千尋、志田 佑佳子、荒木 恵子、田村 優喜、栗原 弥生

新潟医療福祉大学 看護学部 看護学科

P-11-09 初回配置転換を経験した看護師の職場適応における関連要因の検討

○渡邊 めぐみ¹⁾、池西 悦子²⁾、川北 敬美²⁾

1) 大阪医科薬科大学病院 看護部、2) 大阪医科薬科大学 大学院看護学研究科

P-11-10 地域包括ケアを推進する看護職のマネジメント能力の発揮状況

○宗宮 真理子¹⁾、橋本 麻由里¹⁾、古澤 幸江¹⁾、安田 みき¹⁾、米増 直美²⁾
山田 洋子³⁾、木下 拓哉³⁾

1) 岐阜県立看護大学 機能看護学領域、2) 鹿児島国際大学 公衆衛生看護学分野

3) 岐阜県立看護大学 地域基礎看護学領域

P-12 キャリア開発2、教員の資質・能力、倫理教育1 8月30日(日) 13:30-14:00 ポスター会場(1001-1003)

**P-12-01 ストレngths視点の地域移行期看護e-learning研修の学習効果と
実践上の課題**

○小坂 恵美 植草学園大学

**P-12-02 教務主任を対象にした「社会人学生に対する教員への
支援にかかわる課題の抽出」**

○上原 奈々 香里ヶ丘看護専門学校

P-12-03 次世代育成能力強化に向けた看護学科FD研修会の効果―第2報―

○園山 真由美、古俣 理子、寺門 亜子

帝京科学大学医療科学部看護学科

P-12-04 看護シミュレーション教育におけるファシリテーターの不安要因に着目した文献検討

○神寶 ひろみ¹⁾、平野 加代子¹⁾、村田 優子²⁾

1)宝塚大学 看護学部 看護学科、2)京都先端科学大学 健康医療学部 看護学科

P-12-05 看護専門学校に就業する専任教員が知覚する職場の「働きやすさ」の解明

○中山 登志子¹⁾、舟島 なをみ²⁾、植田 満美子¹⁾

1)千葉大学、2)清泉大学

P-12-06 看護系大学教員のワーク・エンゲイジメントに関する文献検討

○満島 杏子 防衛医科大学校 看護学科

P-12-07 看護系大学新任助教のためのAIメンタリングシステム(FD-AIR)の開発過程

○小山田 恭子¹⁾、合田 友美²⁾、三浦 友理子³⁾、青木 美香⁴⁾、渡邊 奈穂⁵⁾

1)聖路加国際大学大学院看護学研究科、2)千里金蘭大学、3)浜松医科大学

4)北海道科学大学、5)東邦大学

P-12-08 看護シミュレーション教育のデブリーフィングにおけるファシリテーターの思考

○宮崎 元子¹⁾、吉武 美佐子²⁾

1)福岡女学院看護大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程、2)福岡女学院看護大学

P-12-09 卒後3、4年目看護師が自覚する「よい看護実践」「充実した看護実践」から考える倫理的実践

○大森 かすり 岩手保健医療大学 看護学部

P-12-10 診断早期の糖尿病患者に対する意思決定支援の倫理教育のための教材作成

○生田 美智子¹⁾、伊藤 千晴²⁾

1)相山女学園大学 看護学部、2)人間環境大学大学院 看護学研究科

P-13-01 看護職における医療情報・ICT・SNSに関する知識と教育の実態

○秋山 優美¹⁾、夏目 美貴子²⁾

1) 金城学院大学、2) 中部大学

P-13-02 看護職におけるSNS使用に関するリスク認識と教育経験との関連

○夏目 美貴子¹⁾、秋山 優美²⁾

1) 中部大学生命健康科学部保健看護学科、2) 金城学院大学看護学部

P-13-03 我が国における情報倫理の定義と看護基礎教育における現状

○宮山 涼子¹⁾、吉岡 詠美¹⁾

1) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科

**P-13-04 高等学校看護科における道德教育と看護倫理教育の関係の検討
—5年一貫看護教育制度に着目した文書分析—**

○中谷 香 佛教大学 教育学研究科 生涯教育専攻 後期博士課程

**P-13-05 ARCSモデルに基づく食事介助IPEプログラムの効果：
看護・栄養学生における授業前後の変化の比較**

○谷川 千佳子¹⁾、岸山 絵里子²⁾、並川 聖子¹⁾、片川 俊太郎¹⁾、泉澤 真紀¹⁾

1) 旭川市立大学 保健福祉学部 保健看護学科、2) 旭川市立大学 短期大学部 食物栄養学科

**P-13-06 介護施設に勤務する職員の看取りケアの自己評価の実態と
職員研修ニーズ**

○長 聡子¹⁾、豊福 佳代¹⁾、藤野 ユリ子¹⁾、村井 孝子²⁾

吉川 由香里¹⁾、中村 加奈子¹⁾

1) 福岡女学院看護大学、2) 純真学園大学

**P-13-07 ARCSモデルに基づく非経口的栄養摂取IPEプログラムの効果：
食事介助IPE経験看護学生の前後比較**

○片川 俊太郎、谷川 千佳子、並川 聖子、泉澤 真紀

旭川市立大学 保健福祉学部保健看護学科

**P-13-08 「なりたい自分」をどう描くのか
— 看護学生と保育学生の職業観の語り —**

○石田 有紀¹⁾、山下 雅佳実²⁾

1) 福岡看護大学、2) 中村学園大学短期大学部

**P-13-09 SDHの視点から多職種連携の必要性を考える
—在日外国人支援団体へのヒアリングを通して—**

○吉澤 裕世¹⁾、溝神 裕美²⁾、安藤 里恵³⁾、岡本 美代子¹⁾

1) 順天堂大学 国際教養学部、2) 国立循環器病研究センター 医療情報部

3) 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部

**P-13-10 地域住民対象の健康教室実施で学生が成長したこと
—看護・栄養・運動の多職種連携教育の視点から—**

○大植 由佳、北庄司 あかり、横山 沙瑛、大橋 久美子、黒田 葉子

兵庫大学看護学部

P-14 その他

8月30日(日) 14:30-15:00 ポスター会場(1001-1003)

**P-14-01 クリニカルパス運用における看護師および看護学生の臨床判断に
関する文献検討**

○星 まどか、佐々木 めぐみ

札幌保健医療大学 保健医療学部 看護学科

**P-14-02 レビー小体型認知症の幻視再現AR教材開発に向けた
幻視内容の文献レビュー**

○小川 あい¹⁾、坪井 桂子¹⁾、藤本 健司²⁾、尾山 匡浩²⁾、田原 熙昂²⁾

田中 晴佳¹⁾、角田 響介¹⁾、神谷 訓康¹⁾

1) 神戸市看護大学、2) 神戸市立工業高等専門学校

P-14-03 看護における「専心」の概念分析

○松本 晃子¹⁾、池西 悦子²⁾、川北 敬美²⁾

1) 大阪医科薬科大学大学院看護学研究博士後期課程、2) 大阪医科薬科大学大学院看護学研究科

**P-14-04 看護学生を対象とした共感性研究の動向と教育的アプローチの
効果に関する文献検討**

○原田 清美、山口 未久、中口 尚始

京都府立医科大学医学部看護学科

P-14-05 看護教員による小学生を対象としたがん教育の実践報告

○酒井 美香、山下 尚美

東邦大学看護学部

**P-14-06 訪問看護師による外国人への英語コミュニケーションの実態
～英語教育プログラムのニーズを探る(第二報)～**

○田中 陽子^{1,2)}、吉村 恵美子³⁾

1) 公立大学法人 下関市立大学

2) 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 看護学分野 大学院博士課程

3) 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 看護学分野

**P-14-07 高大連携事業A高校医療健康クラス看護コースの授業を受けた
看護学生の自己成長感**

○岸 央子、法雲 浄恵、橋本 みこと

中京学院大学

**P-14-08 看護系大学の初年次教育における生成AI活用に向けた
学修項目の検討**

○中島 真由美、吉川 美保、戸村 佳美、緒方 京

岐阜協立大学 看護学部

**P-14-09 保護者と教師の認識の「ズレ」に関する文献研究
～研究の変遷とズレの原因、そして看護基礎教育への提言～**

○押領司 民、佐藤 紀子

公益社団法人 山梨勤労者医療協会 協立高等看護学院

P-14-10 我が国の看護におけるホスピタリティ研究の動向と課題

○茂手木 明美¹⁾、本谷 久美子²⁾

1) 西武文理大学看護学部、2) 埼玉医科大学保健医療学部

一般社団法人 日本看護学教育学会 第36回学術集会 企画委員・運営委員・実行委員名簿

学術集会長	池西 悦子 (大阪医科薬科大学)	企画運営委員	有吉 真里菜 (大阪医科薬科大学)
事務局長	真継 和子 (大阪医科薬科大学)	プログラム	勝山 あづさ (大阪医科薬科大学)
事務局	二宮 早苗 (大阪医科薬科大学)	(五十音順)	草野 恵美子 (大阪医科薬科大学)
	赤崎 芙美 (大阪医科薬科大学)		倉橋 理香 (大阪医科薬科大学)
企画委員	池西 静江 (Office Kyo-Shien)		小林 道太郎 (大阪医科薬科大学)
(五十音順)	岡本 恵里 (富山県立大学)		鈴木 久美 (大阪医科薬科大学)
	川北 敬美 (大阪医科薬科大学)		鈴木 美佐 (大阪医科薬科大学)
	グレッグ 美鈴 (名桜大学大学院)		杉木 佐知子 (大阪医科薬科大学)
	小西 由起子 (甲南女子大学)		近澤 幸 (大阪医科薬科大学)
	斉藤 しのぶ (千葉大学大学院)		寺口 佐與子 (大阪医科薬科大学)
	飛田 伊都子 (大阪医科薬科大学)		土井 智生 (梅花女子大学)
	中山 サツキ (大阪府看護協会)		中原 洋子 (大阪医科薬科大学)
	西田 好江 (泉佐野泉南医師会看護専門学校)		西田 祐紀 (大阪医科薬科大学)
	林 静子 (富山県立大学)		野口 美穂 (大阪成蹊大学)
	細田 泰子 (大阪公立大学)		樋上 容子 (大阪医科薬科大学)
	前川 幸子 (兵庫医科大学大学院)		日高 朋美 (大阪医科薬科大学)
	山岡 由実 (大阪医科薬科大学)		松枝 加奈子 (大阪医科薬科大学)
			間中 麻衣子 (大阪医科薬科大学)
			山内 彩香 (大阪医科薬科大学)
			山埜 ふみ恵 (大阪医科薬科大学)

実行委員 (五十音順)

青崎 聖花 (大阪医科薬科大学)	久保 恵里 (宝塚大学)	葉狩 由香子 (京都光華女子大学)
青山 芽久 (岡本病院)	合田 友美 (千里金蘭大学)	服鳥 景子 (千里金蘭大学)
赤澤 千春 (滋賀県立大学)	古株 ひろみ (滋賀県立大学)	濱崎 友実 (国立病院機構熊本医療センター附属看護学校)
浅井 直子 (宝塚大学)	小林 由里 (奈良学園大学)	林 資子 (宝塚大学)
東 真理 (天理大学)	佐上 裕子 (天理大学)	原 明枝 (トヨタ記念病院)
天野 美玖 (藍野大学)	佐久間 博子 (関西医科大学附属病院)	東田 仁美 (神戸市看護大学)
石束 佳子 (京都中央看護保健大学校)	酒向 なつみ (大阪医科薬科大学)	樋口 優子 (滋賀県立大学)
伊藤 朗子 (千里金蘭大学)	笹野 奈菜 (大阪医科薬科大学)	平野 加代子 (宝塚大学)
伊藤 真理 (大阪医科薬科大学)	下塩入 美香 (甲南女子大学／大阪公立大学大学院)	古川 亜衣美 (園田学園大学)
糸島 陽子 (滋賀県立大学)	春藤 友香 (金城学院大学／大阪公立大学大学院)	堀 智子 (藍野大学)
井上 知美 (関西医科大学大学院)	城山 敏江 (大阪医科薬科大学)	堀 理江 (神戸常盤大学)
井村 弥生 (藍野大学短期大学部)	神寶 ひろみ (宝塚大学)	堀川 尚子 (藍野大学)
岩切 由紀 (神戸常盤大学)	瀬山 由美子 (宝塚大学)	本田 可奈子 (滋賀県立大学)
岩佐 真也 (大阪医科薬科大学)	千田 美紀子 (滋賀県立大学／大阪医科薬科大学大学院)	本多 容子 (藍野大学)
岩浪 睦 (神戸市看護大学)	高岡 寿江 (佛光大学／滋賀県立大学大学院)	前川 昌代 (関西医療大学)
上田 育子 (大阪医科薬科大学病院)	高木 美穂 (やまもとよりそいクリニック)	松上 美由紀 (大阪医科薬科大学病院)
上田 梨奈 (関西医科大学)	高田 千鶴 (神戸市看護大学)	松本 晃子 (大阪公立大学大学院)
上山 順也 (大阪医科薬科大学病院)	高橋 えり (藍野大学)	松本 起史 (大阪公立大学大学院)
卯川 久美 (宝塚大学)	高橋 清子 (千里金蘭大学)	水引 智央 (大阪公立大学)
渦原 晋子 (関西労災看護専門学校)	高橋 良弘 (武庫川女子大学／大阪公立大学大学院)	水本 英佑 (森ノ宮医療大学)
宇多 みどり (神戸常盤大学)	竹内 育美 (大阪医科薬科大学大学院)	三井 由紀子 (神戸大学病院)
榮口 響大 (藍野大学)	竹村 淳子 (滋賀県立大学)	南口 陽子 (大阪医科薬科大学)
江口 実希 (神戸常盤大学)	田辺 幸子 (宝塚医療大学)	宮岡 裕香 (藍野大学)
衛藤 直子 (大阪公立大学大学院)	土岡 香 (大阪公立大学大学院)	三宅 光代 (藍野大学／大阪医科薬科大学大学院)
太田 祐子 (関西医科大学)	寺澤 誠人 (園田学園大学)	宮下 佳代子 (森ノ宮医療大学)
岡崎 翠 (大阪医科薬科大学大学院)	寺田 沙耶 (大阪医科薬科大学)	棕本 美帆 (宝塚大学)
奥村 和代 (兵庫県立大学)	遠山 真央 (大阪公立大学／大阪公立大学大学院)	森 瞳子 (大阪医科薬科大学)
小野 博史 (兵庫県立大学)	内貴 千沙登 (宝塚大学)	八尾 みどり (大阪医科薬科大学病院)
梶谷 薫 (天理大学／大阪医科薬科大学大学院)	長井 友利子 (宝塚大学)	柳田 千代美 (神戸常盤大学)
勝山 愛 (大阪公立大学)	中川 由紀 (関西医科大学大学院)	山田 忍 (大阪医療大学)
金山 悠 (大阪急性期総合医療センター／大阪公立大学)	長野 弥生 (大阪公立大学)	山中 知子 (藍野大学)
川上 和美 (大阪医科薬科大学病院)	七山 知佳 (大手前大学)	山本 桂子 (大阪医科薬科大学)
川端 京子 (千里金蘭大学)	西 千秋 (大阪医科薬科大学病院)	山本 純子 (千里金蘭大学)
川端 慶子 (藍野大学)	西 美恵 (堺市立総合医療センター)	横山 直子 (神戸常盤大学)
川原 美穂子 (京都大学医学部附属病院／大阪公立大学大学院)	西垣 里志 (宝塚大学)	吉川 美和子 (藍野大学)
川本 朋子 (奈良県総合医療センター／大阪公立大学大学院)	西上 あゆみ (藍野大学看護学部)	吉見 宜子 (大阪医科薬科大学／神戸大学大学院)
北島 洋子 (岐阜医療科学大学)	西園 貞子 (奈良学園大学)	米澤 珠子 (宝塚大学)
木野本 麻衣子 (高井病院／大阪公立大学大学院)	西原 望 (大阪医科薬科大学病院)	米村 昌美 (千里金蘭大学)
金原 京子 (関西医科大学)	新田 和子 (新生病院)	渡邊 めぐみ (大阪医科薬科大学病院)
草間 賢介 (大阪医科薬科大学大学院)		

一般社団法人 日本看護学教育学会 第36回学術集会 協賛企業・団体のご芳名

本学術集会の開催にあたりまして、多くの企業・団体から多大なるご支援を賜りました。
心より感謝申し上げます。

一般社団法人 日本看護学教育学会 第36回学術集会
会長 池西 悦子

《共催セミナー》

株式会社医学書院
株式会社永和システムマネジメント
株式会社ツムラ

一般財団法人 電気安全環境研究所電磁界情報センター
ビジネスエンジニアリング株式会社
株式会社メディックメディア

《展示》

藍野大学
株式会社インターメディカル
株式会社永和システムマネジメント
株式会社エス・エム・エス ナース専科
株式会社 MTG
関西看護医療大学
株式会社技術評論社
株式会社京都科学
株式会社クイック
株式会社高研
サンスター株式会社
ジーンビジョン株式会社
滋賀県立大学
日本シグマックス株式会社
株式会社 神陵文庫
スプライングローバル株式会社
スマート・アナリティクス株式会社
セーレン株式会社
千里金蘭大学
翼工業株式会社

東洋羽毛関西販売株式会社
株式会社 南江堂
株式会社ニッシン
ニッセイ情報テクノロジー株式会社
株式会社日本看護協会出版会
日本事務器株式会社
NEW NURSING 株式会社
パラテクノ株式会社
ビジネスエンジニアリング株式会社
株式会社 VIP グローバル
富士フィルムシステムサービス株式会社
ベネッセグループ 株式会社 進研アド
ミドリ安全株式会社
株式会社メディックメディア
株式会社メテオ
株式会社メルシー
株式会社ヤマト
ユサコ株式会社
株式会社 WARK

《広告掲載》

AR 総研株式会社
株式会社エス・エム・エス ナース専科
大阪医科薬科大学大学院看護学研究科
カーディナルヘルス株式会社
株式会社看護の科学新社
株式会社照林社
社会医療法人仙養会 北摂総合病院
中央法規出版株式会社
社会医療法人東和会 第一東和会病院

一般社団法人 日本看護学校協議会共済会
日本データパシフィック株式会社
NEW NURSING 株式会社
ハクゾウメディカル株式会社
株式会社メヂカルフレンド社
メディアサイト株式会社
株式会社メディックメディア
ユサコ株式会社

《ホームページバナー広告》

株式会社アトラス旅行
摂南大学

ビジネスエンジニアリング株式会社
株式会社文化放送キャリアパートナーズ

《幕間広告》

株式会社医学書院
エルゼビア・ジャパン株式会社

株式会社メディックメディア
株式会社メテオ

《寄付》

明治安田生命保険相互会社

《後援》

公益社団法人 大阪府看護協会

2026年7月3日現在(五十音順)